

**PATLITE®**

# **///Interface Converter™**

PHNシリーズ

Ethernet/デジタル I/O 変換器

---

## **PHN-D88**

---

# **取扱説明書**

Rev. 1. 12

※この取扱説明書は本製品ファームウェア Ver1.1.7に対応しています。

株式会社 **パトライト**  
**PATLITE Corporation**

<b>1</b>	<b>概要</b>	<b>5</b>
1.1	はじめに	5
1.2	梱包内容	5
1.3	寸法と各部の名称及び機能	5
1.4	本製品で出来ること	6
<b>2</b>	<b>機能</b>	<b>7</b>
2.1	モード切替スイッチ	7
2.2	ステータス表示 LED	7
2.2.1	運転モード時	7
2.2.2	パラメータ設定初期化モード時	7
2.2.3	UP-DATE モード時	7
2.3	電源表示 LED	7
2.4	リセットスイッチ	7
2.5	クリアスイッチ	7
2.6	Ethernet インタフェース	8
2.6.1	仕様	8
2.6.2	コネクタ	8
2.6.3	ピンアサイン	8
2.6.4	推奨ケーブル	8
2.7	出力部インタフェース	9
2.7.1	仕様	9
2.7.2	出力部回路図	9
2.7.3	端子台	9
2.8	入力部インタフェース	10
2.8.1	仕様	10
2.8.2	入力部回路図	10
2.8.3	端子台	10
2.9	電源コネクタ	11
<b>3</b>	<b>動作モード</b>	<b>12</b>
3.1	運転モード	12
3.1.1	運用	12
3.1.2	概要	12
3.1.3	デジタル入力機能	13
3.1.4	デジタル出力機能	14
3.1.5	トラップ送信機能	14
3.1.6	メール送信機能	15
3.1.7	遠隔コマンド送信機能	15
3.1.8	遠隔コマンド受信機能	16
3.1.9	ユニット監視機能	18
3.1.10	DIO サーバー機能	19
3.1.11	ファームウェア書換機能	21
3.2	初期化モード	22
3.2.1	機能	22
3.2.2	運用	22
3.3	UP-DATE モード	22
3.3.1	機能	22
3.3.2	運用	22

<b>4</b>	<b>運転パラメータの設定</b>	<b>23</b>
4.1	ブラウザからの設定	23
4.1.1	トップ画面	23
4.1.2	DI 設定画面	24
4.1.3	DO 設定画面	25
4.1.4	SNMP 設定画面	26
4.1.5	SMTP 設定画面	27
4.1.6	DIO サーバー設定画面	28
4.1.7	遠隔コマンド設定画面	29
4.1.8	ユニット監視設定画面	30
4.1.9	USER 設定画面	31
4.1.10	クリア SW 設定画面	32
4.2	TELNET からの設定	33
4.2.1	コマンドツリー	33
4.2.2	コマンド詳細	35
4.2.3	基本ネットワーク設定メニュー	35
4.2.4	DI 設定メニュー	36
4.2.5	DO 設定メニュー	37
4.2.6	SNMP 設定メニュー	38
4.2.7	SMTP 設定メニュー	39
4.2.8	DIO サーバー設定メニュー	40
4.2.9	遠隔コマンド設定メニュー	41
4.2.10	ユニット監視設定メニュー	42
4.2.11	USER 設定メニュー	43
4.2.12	クリア SW 設定メニュー	44
4.3	SNMP からの設定	45
4.3.1	専用 MIB 定義一覧	45
4.3.2	専用 MIB オブジェクト解説	48
4.3.3	SNMP トラップ定義一覧	56
4.4	PHN マネージャーからの設定	57
4.4.1	PHNManager の起動	57
4.4.2	ブラウザ設定画面へのジャンプ	57
<b>5</b>	<b>工場出荷時設定値一覧</b>	<b>58</b>
<b>6</b>	<b>トラブルシューティング</b>	<b>65</b>
<b>7</b>	<b>製品仕様</b>	<b>66</b>
7.1	一般仕様	66
7.2	性能仕様	66
<b>8</b>	<b>製品サポート</b>	<b>67</b>

## 安全にご使用いただくために

本書においてはPHN-D88シリーズを安全にご使用いただくために、注意事項のランクを「危険」、「警告」、「注意」の3段階に分けて、下記のような教示を図記号で表しています。以下に記したマークを伴っている注意事項は、安全に関する重大な内容について述べていますので、熟読した上で正しくご使用ください。

 <b>危険</b>	危険：DANGER	取り扱いを誤った場合、死亡または重症を招く差し迫った危険な状況が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	警告：WARNING	取り扱いを誤った場合、死亡または重症を招く可能性がある危険な状況が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	注意：CAUTION	取り扱いを誤った場合、軽傷または中程度の障害を招く可能性のある状況、及び物理的損害の発生が予測される危険な状況を示します。
設計上の注意	 <b>警告</b>	●人命や機器の破損のかかわるところや、緊急用の通信部に使用しないでください。 また本製品の誤動作に対応できるシステム設計を行ってください。
	 <b>注意</b>	●各通信ケーブルは、動力線と一緒に束ねたり、近接した配線にしないで下さい。ノイズによる通信エラーの原因となります。 ●原子力関連及び、公共重要設備へのご使用につきましては、弊社営業へご相談ください。
取り付け上の注意	 <b>注意</b>	●本製品は本書記載の一般仕様の環境で使用してください。 ●一般仕様以外の環境で使用すると、火災、誤動作、製品の破損、あるいは劣化の原因になります。 ●下記のような場所を使用しないでください。故障、火災の原因になります。 ・腐食性ガス、可燃性ガス、溶剤、研削液、切削油等に直接接触する場所 ・高温、結露、風雨にさらされる場所 ・振動、塩分、鉄分が多い場所 ・振動、衝撃が直接加わるような場所 ●機器への導入に際して、本製品の端子に容易に触れないように、正しく取り付けてください。
	 <b>危険</b>	●本製品の取り付け、ケーブル配線時には、必ず電源を切って行ってください。感電や破損の恐れがあります。
配線上の注意	 <b>注意</b>	●本製品への配線は定格電圧、定格電流を考慮して正しく端子に接続してください。 定格外の電源を供給したり、誤配線した場合は製品の破損、故障、火災の原因になります。 ●本製品内に導電性異物が付着、または入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
	 <b>危険</b>	●通電中は絶対に端子に触れないでください。 感電の恐れがあります。
保守・運転中の注意	 <b>注意</b>	●電源を投入する時は、DC ジャック側ではなく、AC アダプタ側で行ってください。 ●電源を落とし、再投入する場合は、10秒以上間隔を空けてください。 ●本製品の修理、分解、改造を(株)パトライト以外、もしくは(株)パトライト指定以外の第三者が行った場合、それが原因で生じた損害等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

## ご 注 意

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書に記載された内容は予告無く変更する場合があります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、販売店へご連絡ください。
- 本製品の運用を理由とする、損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載される会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

# 1 概要

## 1.1 はじめに

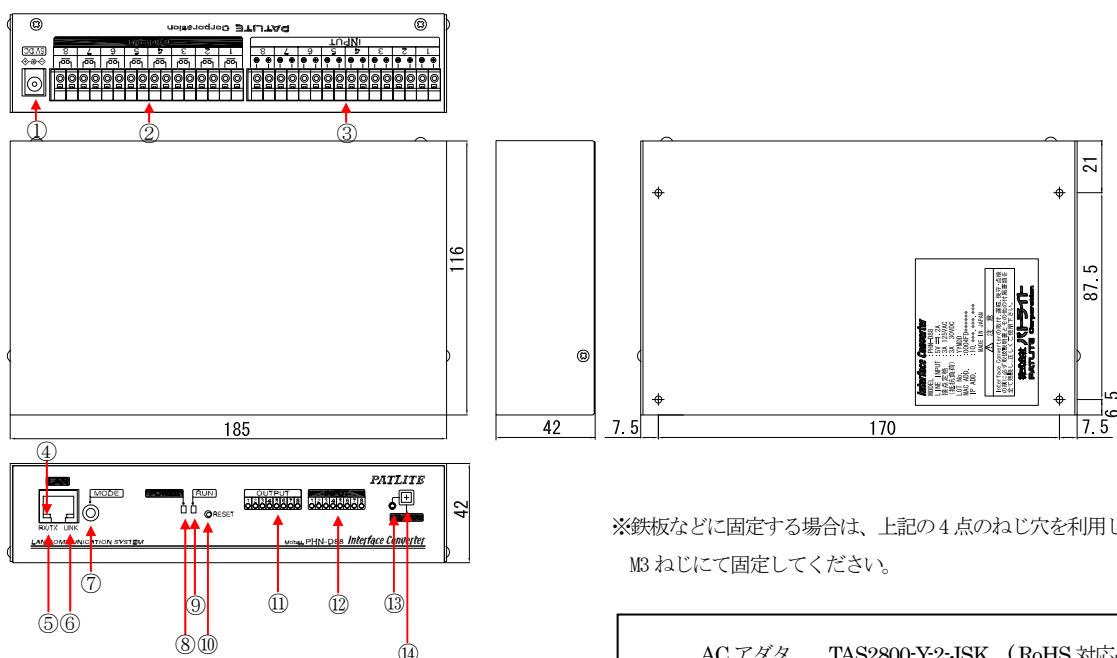
このたびは、(株)パトライト Interface Converter をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
 本製品はイーサネット接続された機器からの指令により、デジタル入出力（入力：8点/出力：8点）の制御を行う機器です。  
 ご使用に関しては、本書の内容をご理解された上で、正しくご使用されるよう、お願い申し上げます。

## 1.2 梱包内容

- ①本体
- ②ACアダプタ
- ③ゴム足 4コ
- ④簡単セットアップマニュアル
- ⑤FAX お客様登録用紙

## 1.3 寸法と各部の名称及び機能

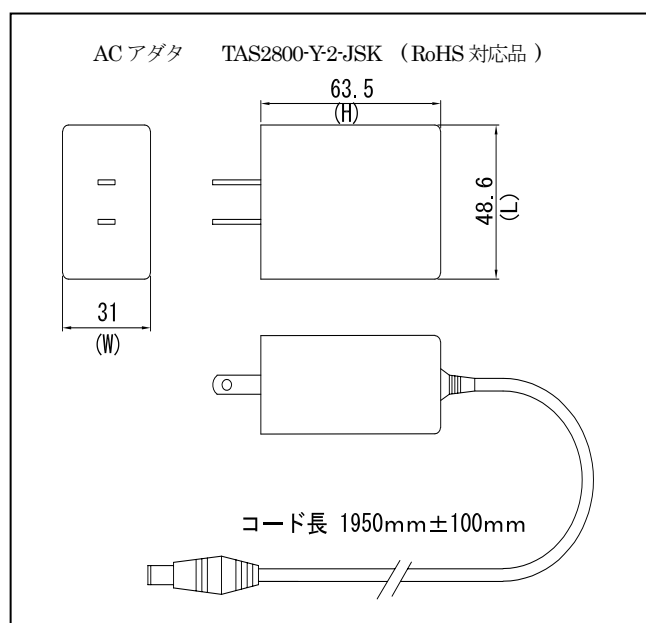
外觀図 単位 [mm]



※鉄板などに固定する場合は、上記の4点のねじ穴を利用し、M3 ねじにて固定してください。

- ① 電源コネクタ
- ② 出力端子台 (8点)
- ③ 入力端子台 (8点)
- ④ Ethernet インタフェース
- ⑤ データ表示 LED
- ⑥ リンク表示 LED
- ⑦ モード切替スイッチ
- ⑧ 電源表示 LED
- ⑨ ステータス表示 LED
- ⑩ リセットスイッチ
- ⑪ 出力表示 LED
- ⑫ 入力表示 LED
- ⑬ クリアスイッチ表示 LED
- ⑭ クリアスイッチ

※ ACアダプタは、予告なく変更する場合があります。



---

#### 1.4 本製品で出来ること

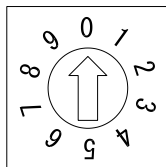
---

- デジタル入出力（入力：8点／出力：8点）の制御監視（SNMP／RSH／TCP／UDP）
- 各種イベントトリガでのトラップ通知
- 各種イベントトリガでのメール通知
- 各種イベントトリガでのデジタル出力
- 各種イベントトリガでのRSH コマンド送信
- RSH コマンド受信機能
- ユニット監視機能（ping）

## 2 機能

### 2.1 モード切替スイッチ

本器のモードを切り替えます。



- 0: 運転モード
- 1~6: 動作しません
- 7: パラメータ設定初期化モード
- 8: UP-DATE モード
- 9: 動作しません

※モード切り替え後リセットをかけることにより、切り替え設定が有効となります。

※UP-DATE モードは、ファームウェア書換え時に使用します。

### 2.2 ステータス表示 LED

本製品の動作状態をステータス表示 LED で表示します。

#### 2.2.1 運転モード時

動作	ステータス表示 LED
電源投入時	消灯
TCP セッション確立時	点灯 (緑色)
TCP セッション破棄時	消灯
初期化チェックエラー発生時	点滅 (緑色) 0.1 秒周期

#### 2.2.2 パラメータ設定初期化モード時

動作	ステータス表示 LED
電源投入時	点滅 (緑色) 0.5 秒周期
初期化チェックエラー発生時	点滅 (緑色) 0.1 秒周期
パラメータ初期化完了時	点灯

#### 2.2.3 UP-DATE モード時

動作	ステータス表示 LED
電源投入時	点灯 (緑色)
初期化チェックエラー発生時	点滅 (緑色) 0.1 秒周期
ファーム書き込みエラー発生時	点滅 (緑色) 1 秒周期

### 2.3 電源表示 LED

本製品の電源が入っている時に、緑色で点灯します。

### 2.4 リセットスイッチ

本製品をリセットします。

### 2.5 クリアスイッチ

接点出力の全ビット強制 OFF を行います。(強制 OFF 時の状態は、各ビットの論理設定に依存します。)

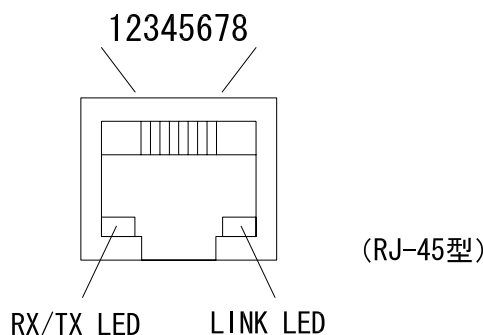
## 2.6 Ethernet インタフェース

### 2.6.1 仕様

項目	内容
ビットレート	10Mbps/100Mbps 自動切換え (100Mbps 優先)
プロトコル	CSMA/CD (IEEE 802.3)
伝送媒体	10BASE-T、100BASE-TX
トポロジ	スター
	全二重/半二重 (全二重優先)

レイヤ	プロトコル	説明
物理レイヤ	10BASE-T 100BASE-TX	IEEE802.3
データリンクレイヤ	CSMA/CD	IEEE802.3 搬送波感知多重アクセス/衝突検出方式 対象フレーム：イーサフレーム
ネットワークレイヤ	IP ICMP ARP	TCP/IP プロトコルにおける 標準的なネットワークレイヤのプロトコル
トランスポートレイヤ	TCP UDP	TCP/IP プロトコルにおける 標準的なトランスポートレイヤのプロトコル
アプリケーションレイヤ	ソケット FTP telnet http	ソケットスループロトコル 標準的なアプリケーションレイヤのプロトコル

### 2.6.2 コネクタ



### 2.6.3 ピンアサイン

ピン番号	信号名	名称
1	TXD+	送信データ (+)
2	TXD-	送信データ (-)
3	RXD+	受信データ (+)
4	-	未使用
5	-	未使用
6	RXD-	受信データ (-)
7	-	未使用
8	-	未使用

### 2.6.4 推奨ケーブル

カテゴリ 5 対応ツイストペアケーブル (UTP または STP)

パソコンから本製品に直接接続 (1 : 1) する場合はクロスケーブル、HUB を介して接続する場合はストレートケーブルが必要です。

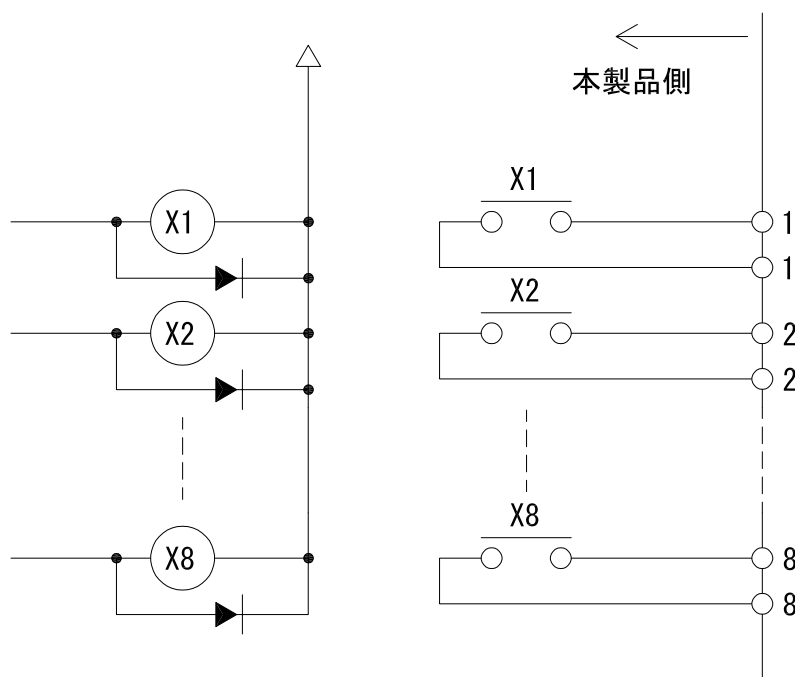


## 2.7 出力部インタフェース

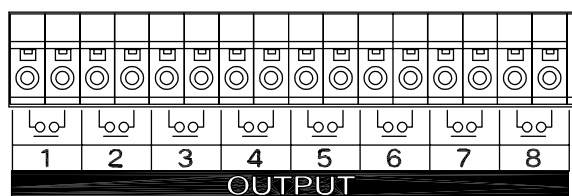
## 2.7.1 仕様

項目	内容
出力形式	リレー-接点出力
出力点数	8点
定格負荷	最大: AC 125V 3A、DC30V 3A 最小: DC5V 10mA (抵抗負荷)
使用可能電線	単線 $\phi 1.3 \sim 2.0\text{mm}$ (AWG#12~#16) より線 $0.33 \sim 2.08\text{mm}^2$ (AWG#14~#22)
電線被覆剥きしろ	9~10mm

## 2.7.2 出力部回路図



## 2.7.3 端子台

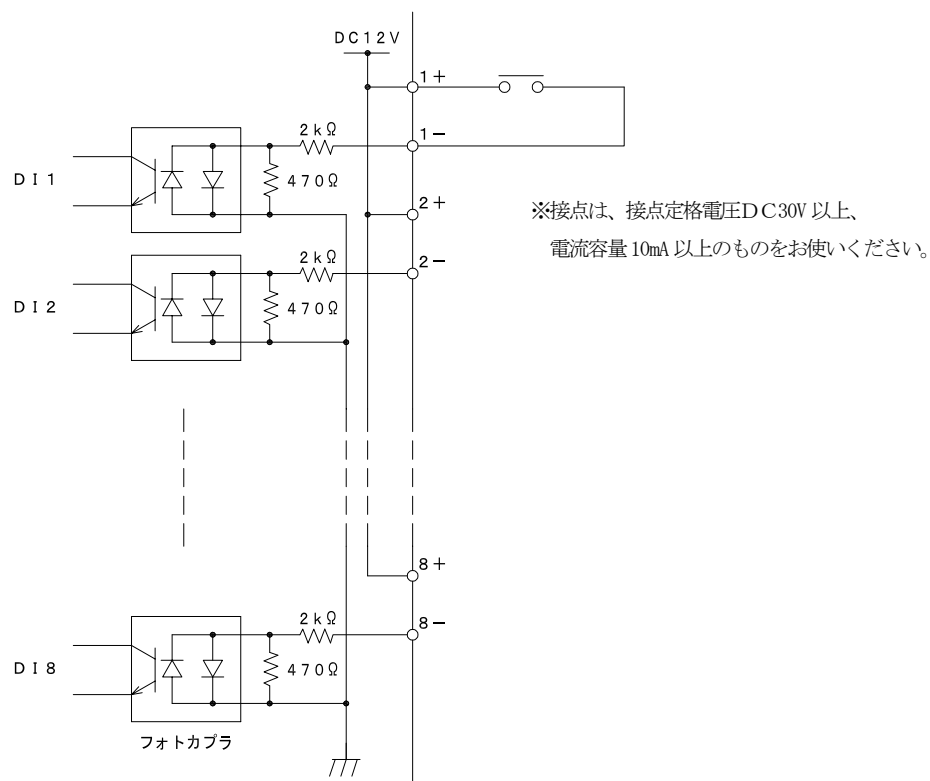


## 2.8 入力部インタフェース

## 2.8.1 仕様

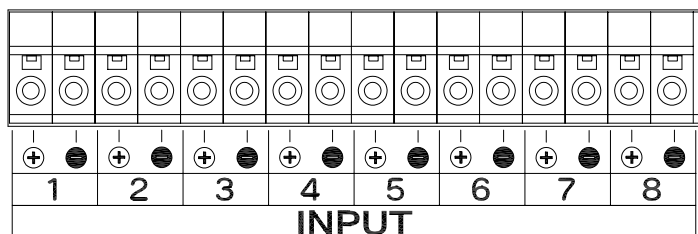
項目	内容
入力形式	フォトカプラ入力 (内蔵 12V 使用)、短絡時電流 : 5mA
出力点数	8 点
使用可能電線	単線 $\phi 1.3 \sim 2.0\text{mm}$ ( AWG#12~#16 ) より線 $0.33 \sim 2.08\text{mm}^2$ ( AWG#14~#22 )
電線被覆剥きしろ	9~10mm

## 2.8.2 入力部回路図



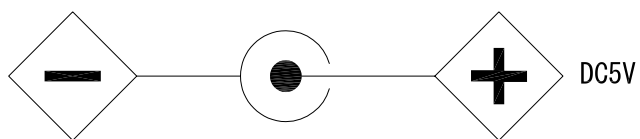
※内蔵DC12V電源は、内部電源と非絶縁です。

## 2.8.3 端子台



## 2.9 電源コネクタ

本製品専用の付属ACアダプタをご使用ください。付属ACアダプタ以外のものをご使用になりますと、本製品もしくは接続された他の機器が破損する恐れがあります。



(注) 電源を投入する時は、DC ジャック側ではなく、AC アダプタ側で行ってください。

電源を落とし、再投入する場合は、10 秒以上間隔を空けてください。

## 3 動作モード

### 3.1 運転モード

#### 3.1.1 運用

モード切替スイッチを0に合わせ、本製品を起動（再起動）します

#### 3.1.2 概要

##### デジタル入力機能

デジタル入力信号を取り込むことができます。

- SNMP エージェントへアクセスすることにより、デジタル入力の状態を参照することができます。
- DIO サーバーへアクセスすることにより、デジタル入力の状態を参照することができます。
- 遠隔コマンドにて、デジタル入力の状態を参照することができます。
- 設定により、デジタル出力、トラップ送信、メール送信、遠隔コマンド送信を行います。

##### デジタル出力機能

デジタル出力部に信号を出力します。

- SNMP エージェントへアクセスすることにより、デジタル出力の操作を行うことができます。
- DIO サーバーへアクセスすることにより、デジタル出力の操作を行うことができます。
- 遠隔コマンドにて、デジタル出力の操作を行うことができます。
- デジタル入力設定により、デジタル出力を行います。
- 設定により、認証エラー発生時にデジタル出力を行います。

##### トラップ送信機能

設定されている送信先へトラップ送信を行います。

- デジタル入力設定により、トラップ送信を行います。
- 設定により、認証エラー発生/クリアスイッチ押下時にトラップ送信を行います。

##### メール送信機能

設定されている送信先へメール送信を行います。

- デジタル入力設定により、メール送信を行います。
- 設定により、認証エラー発生/クリアスイッチ押下時にメール送信を行います。

##### 遠隔コマンド送信機能

設定されている送信先へ遠隔コマンド送信を行います。（リモートシェルクライアント機能）

- デジタル入力設定により、遠隔コマンド送信を行います。
- 設定により、認証エラー発生/クリアスイッチ押下時に遠隔コマンド送信を行います。

##### 遠隔コマンド受信機能

遠隔コマンドを受信し（リモートシェルサーバー機能）、コマンドに応じたデジタル出力を行います。

##### ユニット監視機能

設定されている監視先のネットワーク機器の死活監視（PING 応答要求）を行います。

- 設定により、異常検出時にトラップ送信を行います。
- 設定により、異常検出時にメール送信を行います。
- 設定により、異常検出時にデジタル出力を行います。
- 設定により、異常検出時に遠隔コマンド送信を行います。

### DIO サーバー機能

専用プロトコル (TCP/UDP) にて、デジタル入力部の監視及び、デジタル出力部の操作を行います。

### ファームウェア書換機能

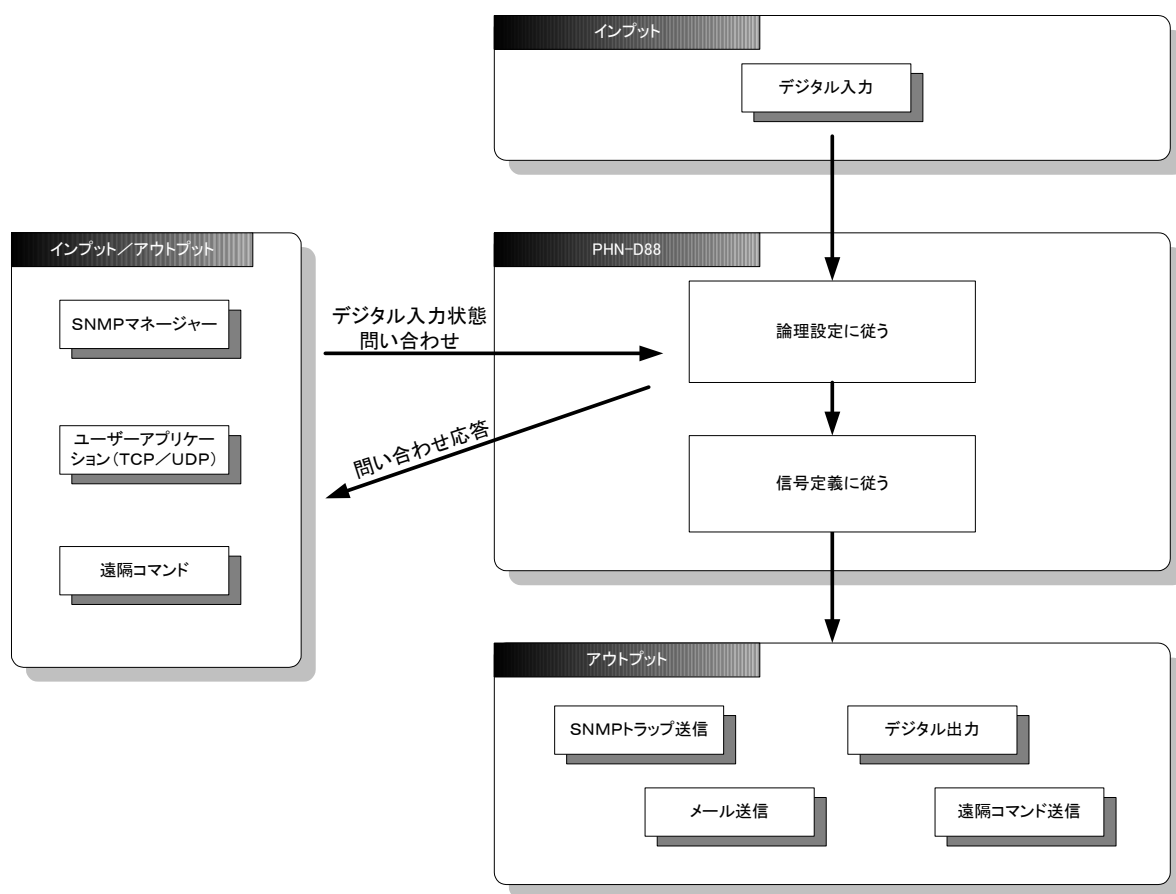
FTP にてファームウェアの転送を行い、書き換えを行います。

### 3.1.3 デジタル入力機能

入力1～8に対して各々論理設定 (A接点/B接点)、及び信号定義 (信号を取り込むタイミング) を行います。

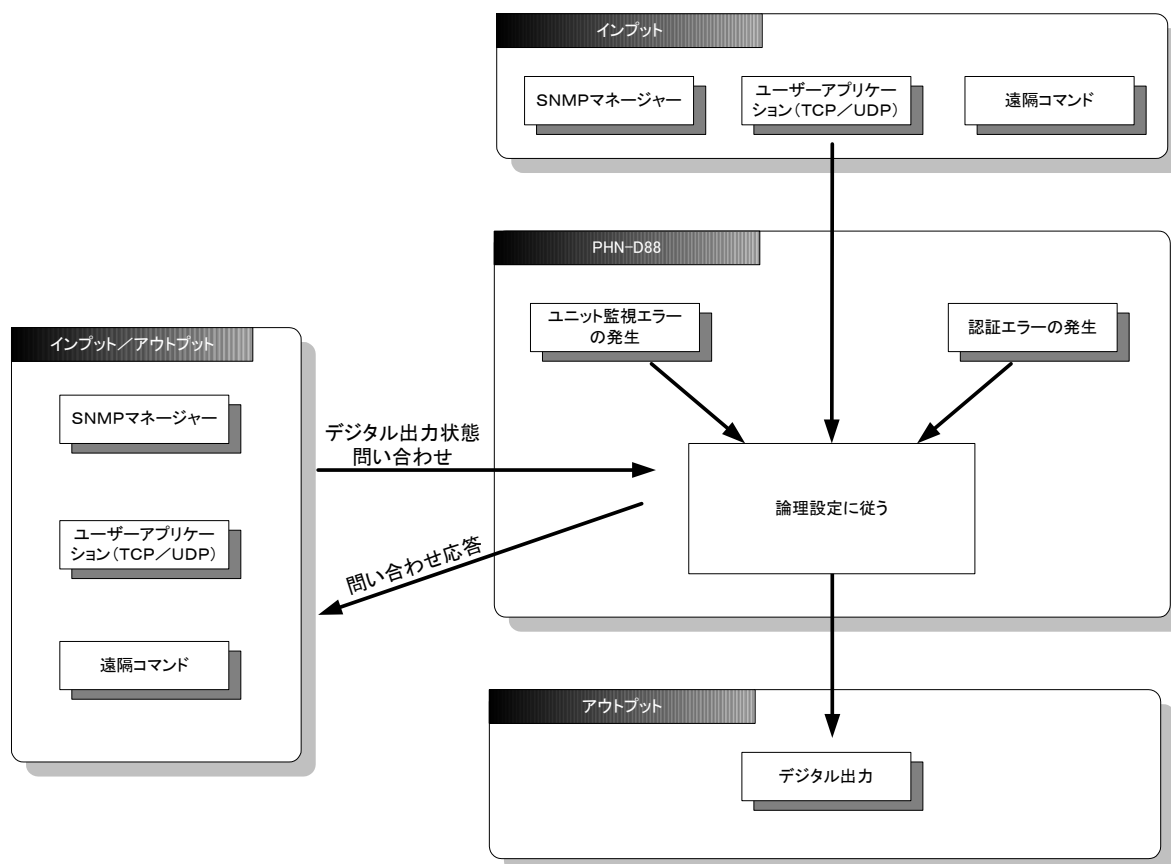
信号定義で設定された状態変化が発生した場合、設定に従い各アウトプットを行います。

デジタル入力の状態変化を通知するためのポーリング間隔は、50ms 単位で指定できます。(入力1～8共通)



### 3.1.4 デジタル出力機能

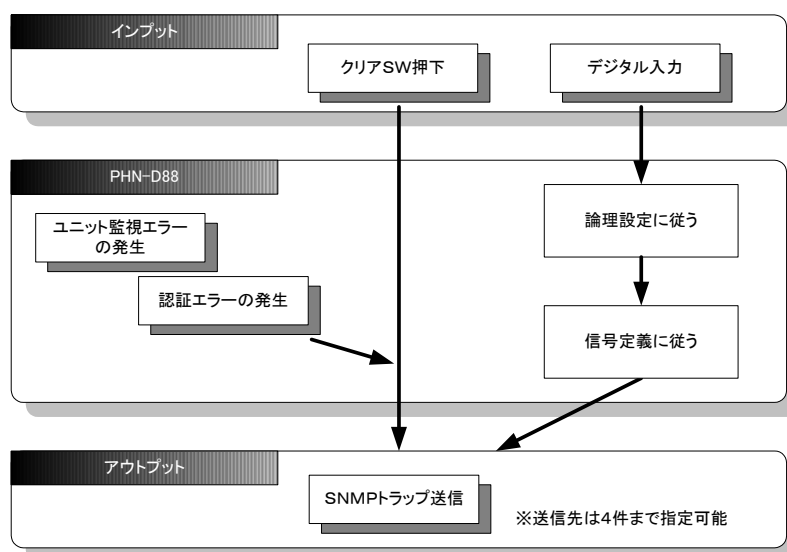
出力1～8に対して各々論理設定（A接点/B接点）を行います。



各インプットにより、設定に従いデジタル出力を行います。

### 3.1.5 トラップ送信機能

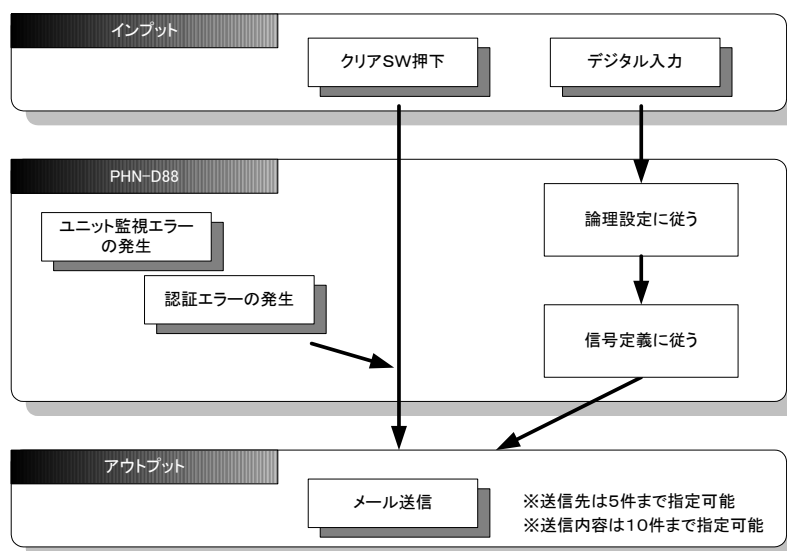
各インプットにより、設定に従いトラップ送信を行います。



- ・送信されるトラップコードについては、「4.3.3 SNMP トラップ定義一覧」を参照してください。

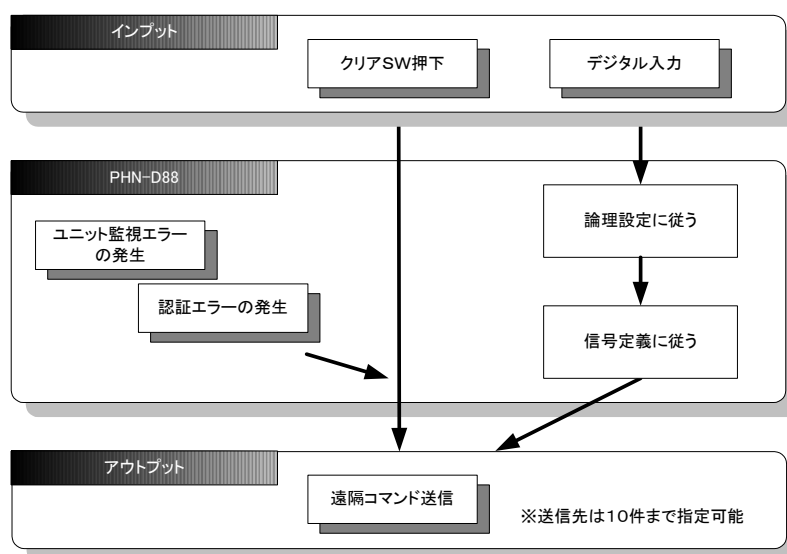
### 3.1.6 メール送信機能

各インプットにより、設定に従いメール送信を行います。



### 3.1.7 遠隔コマンド送信機能

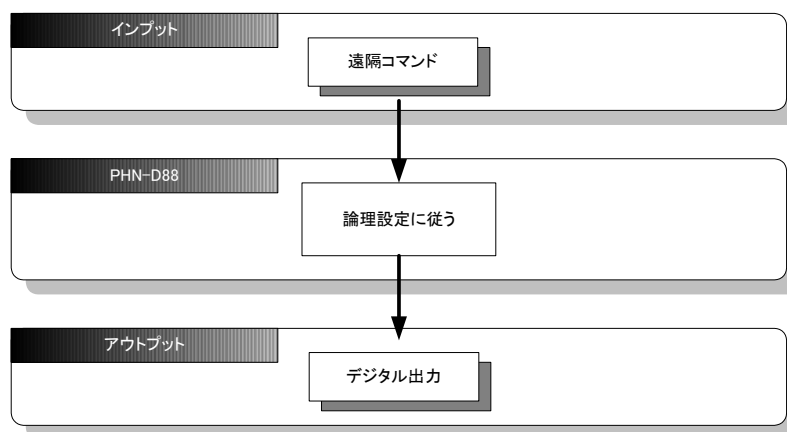
各インプットにより、設定に従い遠隔コマンド送信を行います。



- ・遠隔コマンド実行時のタイムアウト  
遠隔コマンドを実行するホストからの応答待ち時間は10秒です。(固定)  
タイムアウト時はセッションを打ち切ります。
- ・構文は以下のようになります。  
rsh IPアドレス [-l ユーザーネーム] コマンド パラメータ  
※ユーザーネーム、コマンド、パラメータ部は全て半角英数文字。ユーザーネームは無視しますので、指定しても、しなくてもかまいません。  
コマンド及びパラメータの詳細は、P15、P16を参照してください

### 3.1.8 遠隔コマンド受信機能

各インプットにより、設定に従いデジタル出力を行います。



- ・遠隔コマンド受信ポートは514番固定です。

- ・構文は以下のようになります。

rsh IPアドレス [-l ユーザーネーム] コマンド パラメータ

※ユーザーネーム、コマンド、パラメータ部は全て半角英数文字。ユーザーネームは無視しますので、指定しても、しなくてもかまいません。

- ・サポートコマンドは以下のようになります。

**[alert]** : 出力信号の制御

**構文** alert ?????????? ##

**説明** 出力信号の状態を変化させます。

パラメータ部????????の指示には下記の値が入ります。

0 : 出力信号 OFF

1 : 出力信号 ON

2 : 出力信号 1秒毎にON/OFFを繰り返す

9 : 変化なし

パラメータ##部の指示には下記の値が入ります。

パラメータなし、もしくは、0 : 制限時間なし

1~99 : 制限時間を秒単位で指定

制限時間を指定した alert コマンドを発行した場合は、そのコマンドを発行した時点の出力状態を退避したあとで、パラメータ????????部で指定した制御状態を制限時間だけ出力します。

制限時間が経過すると、退避しておいた出力状態を再度出力し、コマンドの処理を終了します。この時制限時間を経過する前に、新たに制限時間を指定した alert コマンドを発行した場合、その制限時間を経過した後の出力状態は、最初に制限時間を指定した alert コマンドを発行したときに退避しておいた出力状態に戻ります。

また、制限時間を経過する前に、制限時間の指定がない alert コマンド、あるいは、clear、test コマンドを発行した場合は、新たに発行されたコマンドの処理を実行し、退避した出力状態は、破棄します。

制限時間中に、rsh コマンド以外の方法で出力状態を変更することは可能ですが、制限時間を経過した時点で、出力状態は、制限時間を指定した alert コマンド発行時に退避しておいた状態に戻ります。



応答 コマンド実行後の指示値を標準出力に返します。⇒ ?????????? ##  
 応答部????????には下記の値が入ります。  
 0：出力信号 OFF  
 1：出力信号 ON  
 2：出力信号 1秒毎にON/OFFを繰り返す  
 9：変化なし  
 応答部##には下記の値が入ります。  
 パラメータなし、もしくは、0：制限時間なし  
 1～99：制限時間

※ パラメータ部及び応答部の????????は先頭より出力1、出力2・・・出力8の各信号の順です。

[status]：出力信号の状態取得

構文 status

説明 現在の出力状態を標準出力に返します。

パラメータ無し

応答 現在の出力状態を標準出力に返します。⇒ ??????????

応答部????????には下記の値が入ります。

0：出力信号 OFF

1：出力信号 ON

2：点滅

※ 応答部の????????は先頭より出力1、出力2・・・出力8の各信号の順です。

[read]：入力信号の状態取得

構文 read

説明 現在の入力状態を標準出力に返します。

パラメータ無し

応答 現在の入力状態を標準出力に返します。⇒ ??????????

応答部????????には下記の値が入ります。

0：入力信号 OFF

1：入力信号 ON

※ 応答部の????????は先頭より入力1、入力2・・・入力8の各信号の順です

以下のコマンドについては、テスト用のため通常のコントロールに使用しないでください

[clear]：出力信号のクリア

構文 clear

説明 出力信号全てをクリアします。

応答 00000000

応答には全て下記の値が入ります。

0：出力信号 OFF

[test]：出力信号のテスト

構文 test

説明 出力信号全てをクリアしてから、出力信号1～8を順にONさせます。⇒ 全てON

クリアスイッチ押下もしくは、遠隔コマンド (clear) を実行するまで保持します。

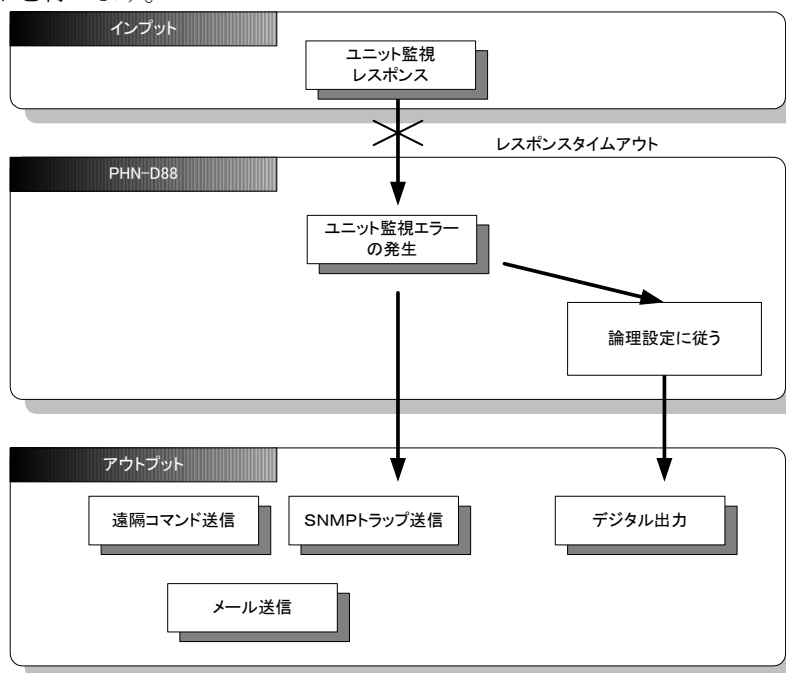
応答 10000000→11000000→ → →11111111

### 3.1.9 ユニット監視機能

同一ネットワーク上に設置されるネットワーク機器を監視（PING 応答要求）します。

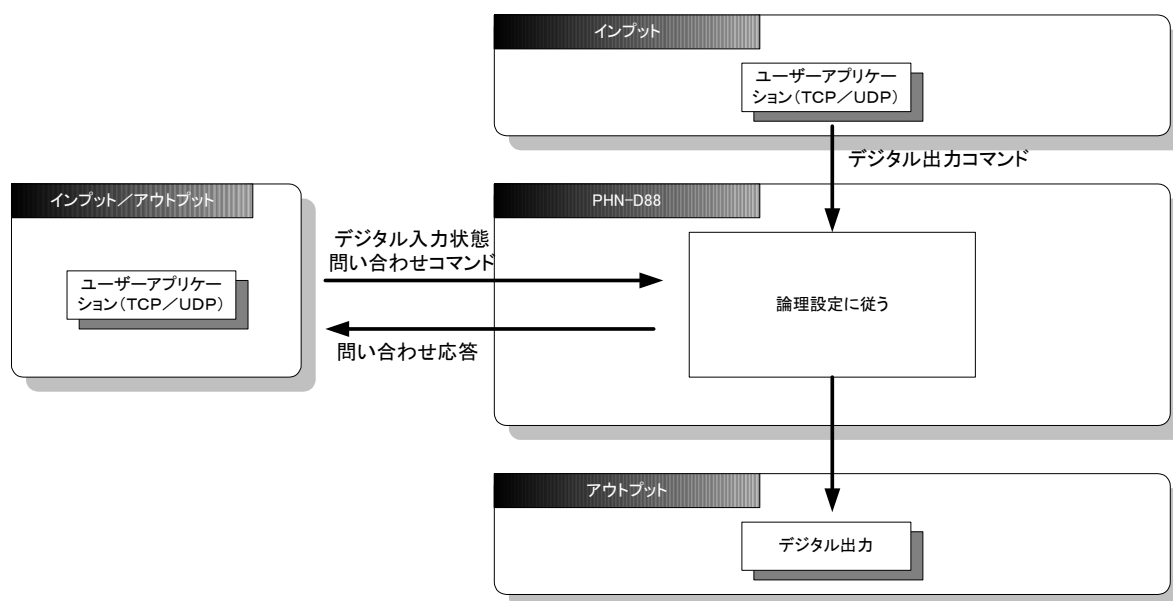
最大10台までの同時監視が行えます。

設定したネットワーク機器からのレスポンスがタイムアウト時間途絶えた場合、設定に従い各アウトプットを行います。



## 3.1.10 DIO サーバー機能

TCP/UDPプロトコルで作成したアプリケーションより、デジタル入出力の操作が行えます。



## 通信プロトコル (TCP/UDP 共通)

[出力要求コマンド (W)] 本ユニットのデジタル出力操作を行います。

'W' (0x57)	出力データ (1byte bin)
---------------	----------------------

出力データ指定例

出力 1, 4, 6      出力 : 0010 1001 (ビット配置) → 0x29 (出力データ)  
全 8 点            出力 : 1111 1111 (ビット配置) → 0xff (出力データ)

ユニットからの応答 (正常時応答)

'A' (0x41)	'C' (0x43)	'K' (0x4B)
---------------	---------------	---------------

ユニットからの応答 (異常時応答)

'N' (0x4E)	'A' (0x41)	'K' (0x4B)
---------------	---------------	---------------

[入出力状態要求コマンド応答 (R)] 本ユニットのデジタル入出力状態の取得を要求します。

'R' (0x52)
---------------

ユニットからの応答 (正常時応答)

'R' (0x52)	入力状態 (BIN)	出力状態 (BIN)
---------------	---------------	---------------

ユニットからの応答 (異常時応答)

'N' (0x4E)	'A' (0x41)	'K' (0x4B)
---------------	---------------	---------------

### 強制切替機能について

※強制切替機能はTCP プロトコル選択時の時のみ機能します。

本器のDIOサーバーは常にクライアントと1：1のセッションを保ちます。

従って既にセッションが確立している場合は、セッションが閉じられるまで、接続要求が受け入れられません。

強制切替機能を '有り' に設定し、セッション確立後別の接続要求を受け取った場合、既存のセッションを閉じ、後者とのセッションに切り替えます。

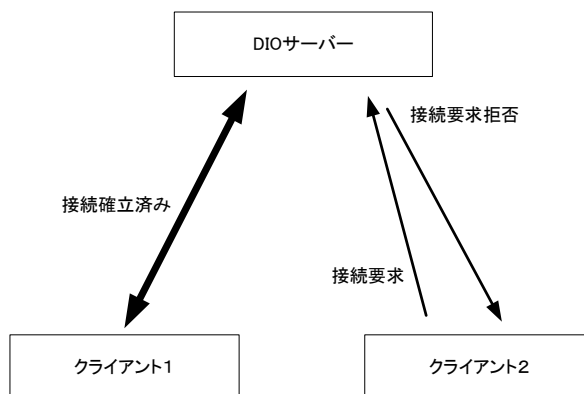


図 3.1 強制切替 '無し' での動作

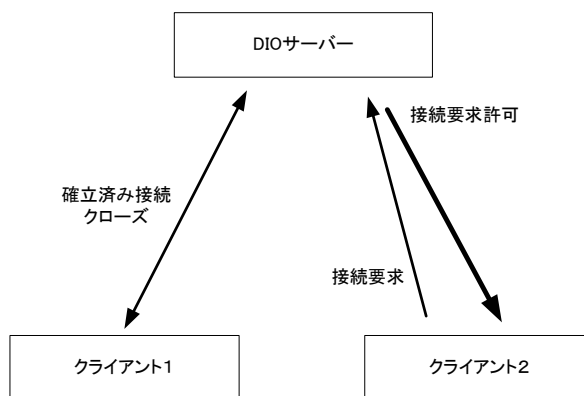


図 3.2 強制切替 '有り' での動作

### 3.1.11 ファームウェア書換機能

以下の手順でファームウェアの書き換えを行います。  
 ※以下の例はユニット IP=192.168.1.240 の場合です。  
 ※xxx は任意の文字列です。

#### ① ftp でログイン

```
C:\>ftp 192.168.1.240
Connected to 192.168.1.240
220 FTP Server ready
User (192.168.1.240:(none)):xxx
331 Password required
Password:xxx
230 Logged in
ftp>
```

#### ② ftp でファームウェアを転送

```
ftp>put "C:\D88.mot"
200 PORT Command successful
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp: xxxxxxbytes sent in xxxSeconds xxxbytes/sec.
ftp>
```

#### ③ ファーム転送完了後、ログアウト

```
ftp>bye
221 Goodbye
```

#### ④ telnet でログイン

```
telnet 192.168.1.240
login:xxx
Password:xxx
#
```

#### ⑤ flash コマンドで FROM のファームを書き換える

```
#flash D88.mot
プログラムを書き換えますか(Yes/No) = Yes

Convert...
Convert OK
Erase&Write...
Erase&Write OK
#
```

#### ⑥ Telnet からリブートを行う (本体リセットでも可)

```
#Reboot
```

以上の手順でファームウェアの書き換えが完了します。

※⑤の手順で予期せぬ要因 (電源断等) で書き換えが失敗した場合、ファームウェアが消えてしまいます。(運転モードでの運用が不可能)  
 復旧方法 ⇒ UP-DATE モードにて、PHNManager を使用してファーム転送を行ってください。  
 操作方法については、PHNManager の取扱説明書を参照してください。

## 3.2 初期化モード

### 3.2.1 機能

本器の各設定パラメータを工場出荷時の設定に戻します。

※工場出荷時設定については、「5 工場出荷時設定値一覧」を参照してください。

### 3.2.2 運用

1. ロータリースイッチを7に合わせ、本器を起動（再起動）します。
2. ステータス表示LEDが10秒間点滅します。
3. 出荷時設定への書換えが完了すると、ステータス表示LEDが点灯に変わります。

## 3.3 UP-DATE モード

### 3.3.1 機能

本器のUPDATEモードで動作するファームウェアの書き換えを行います。

### 3.3.2 運用

1. ロータリースイッチを8に合わせ、本器を起動（再起動）します
2. 設定ソフト側のPCのLAN設定をユニットのネットワークグループにあわせませす。
3. 設定プログラムにてファームウェア書き込みを行います。  
PHNManagerにてファームウェアの書き換えを行います。  
操作方法については、PHNManagerの取扱説明書を参照してください。

## 4 運転パラメータの設定

### 4.1 ブラウザからの設定

お使いのブラウザで、本機の IP アドレスを直接指定して下さい。IP アドレスを変更していない場合は、本機裏面の銘板に表示されている IP アドレスを入力してください。

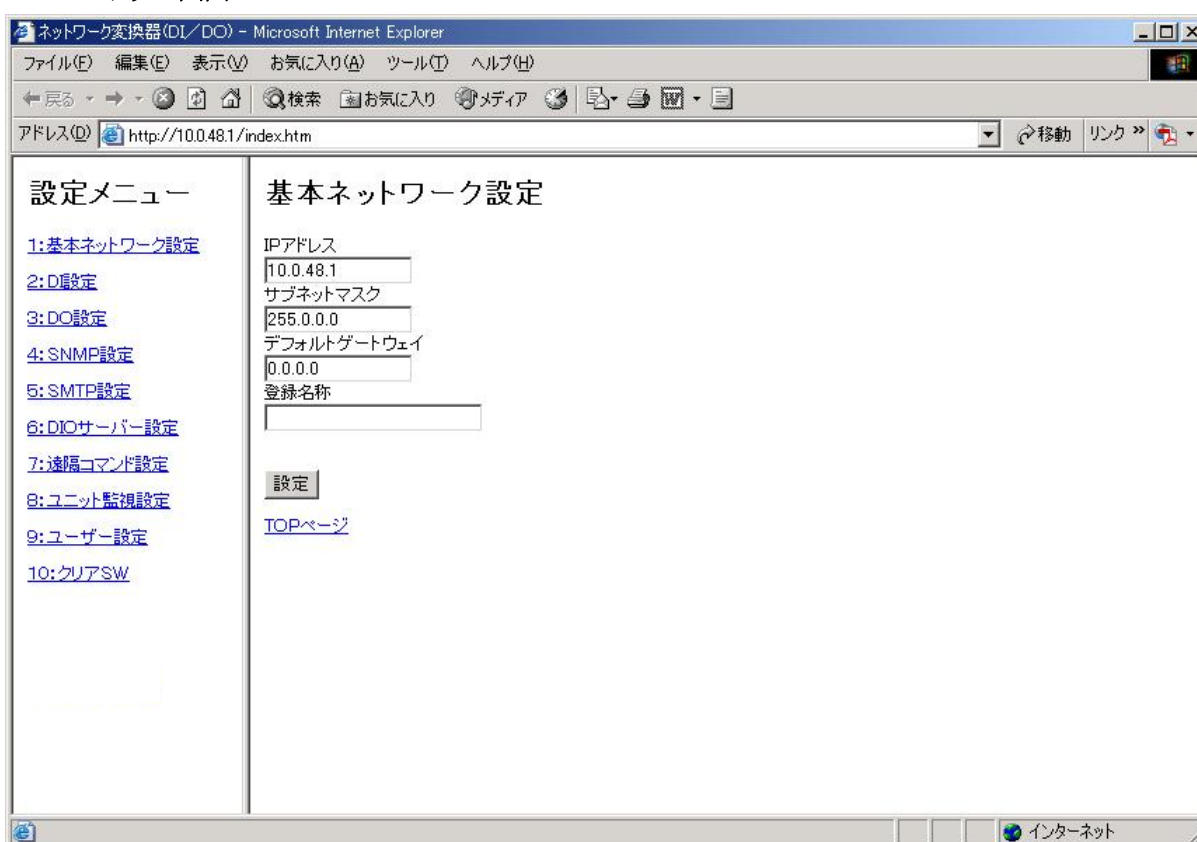
<http://ユニット IP アドレス/index.htm>

※工場出荷時のログイン名及びパスワードについては、「5 工場出荷時設定値一覧」を参照してください。  
※変更した設定値を保存するには、画面毎に設定ボタンを押す必要があります。

推奨ブラウザ

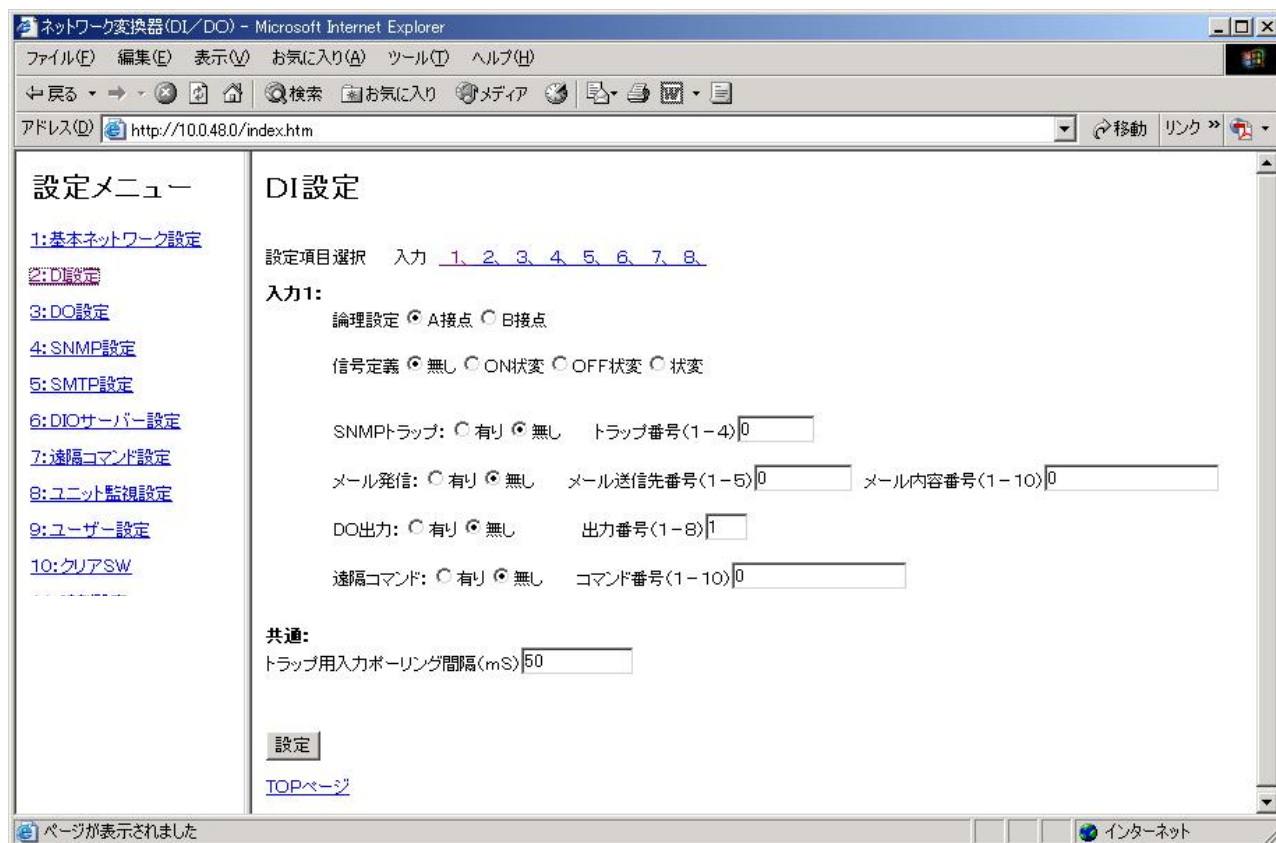
Internet Explorer 6.0

#### 4.1.1 トップ画面

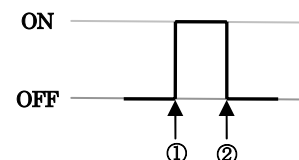


画面の説明	
基本ネットワーク設定	ネットワーク関連の基本設定を行います。
DI 設定	デジタル入力関連の設定を行います。
DO 設定	デジタル出力関連の設定を行います。
SNMP 設定	SNMP 関連の設定を行います。
SMTP 設定	SMTP 関連の設定を行います。
DIO サーバー設定	DIO サーバー関連の設定を行います。
遠隔コマンド設定	遠隔コマンド関連の設定を行います。
ユニット監視設定	ユニット監視関連の設定を行います。
ユーザー設定	ユーザー設定関連の設定を行います。
クリア SW 設定	クリアスイッチ関連の設定を行います。

## 4.1.2 DI 設定画面

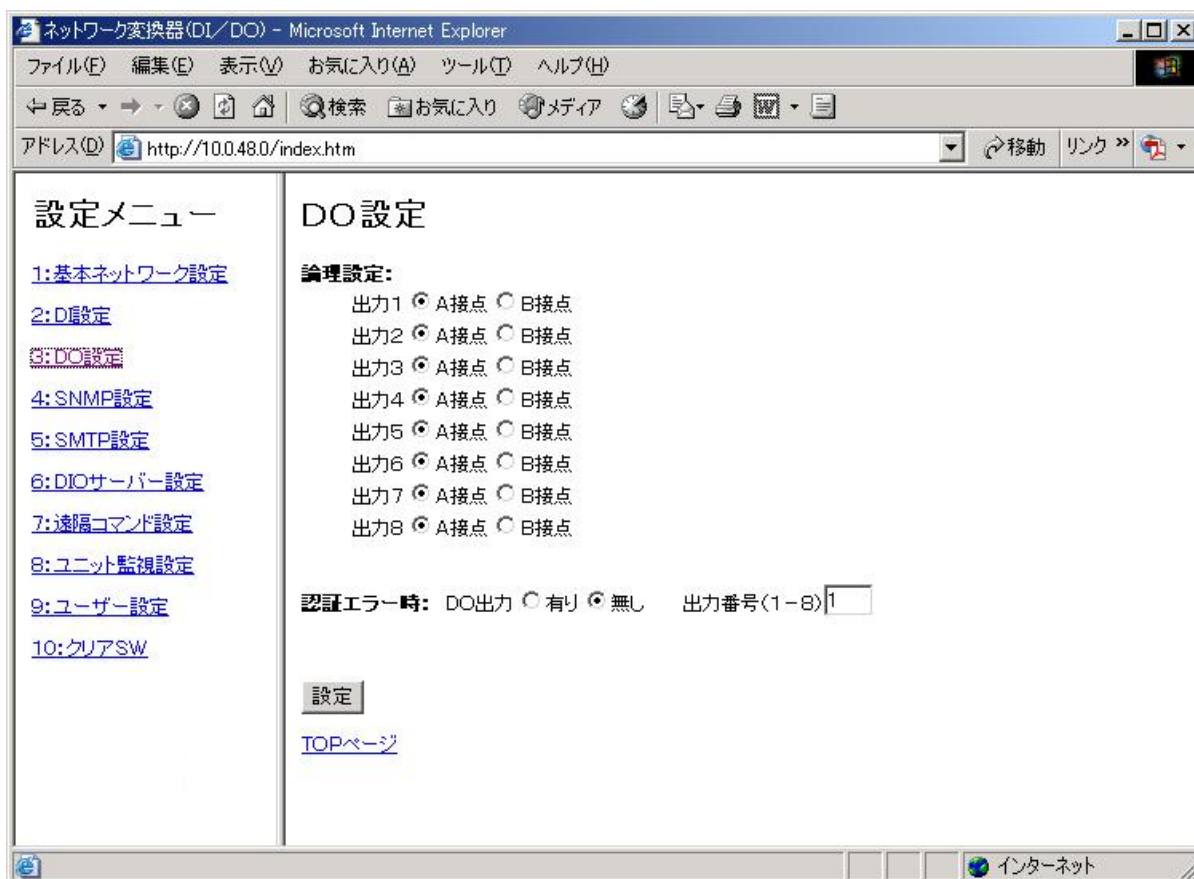


画面の説明	
設定項目選択	設定するデジタル入力番号を選択します。
論理設定	入力の論理を設定します。 A 接点：接点を閉じると ON 信号と認識 B 接点：接点を閉じると OFF 信号と認識
信号定義	入力トリガの条件を設定します。ここで設定するトリガ条件のもとで、各種イベント（トラップ送信、メール送信、DO 出力、遠隔コマンド送信）が発生します。 無し：入力信号を受け付けません。 ON 状態：入力 ON 時 (①) に信号を取り込みます。 OFF 状態：入力が OFF 時 (②) に信号を取り込みます。 状態：入力が ON/OFF 時 (①及び②) に信号を取り込みます。
SNMP トラップ	入力トリガ成立時、SNMP トラップ送信を '有り/無し' に設定します。
トラップ番号	5：SNMP 設定で登録されたトラップ番号 (1~4) を入力します。
メール発信	入力トリガ成立時、メール発信を '有り/無し' に設定します。
メール送信先番号	5：SMTP 設定で登録された送信先番号 (1~5) を入力します。
メール内容番号	5：SMTP 設定で登録された送信内容番号 (1~10) を入力します。
DO 出力	入力トリガ成立時、デジタル出力を '有り/無し' に設定します。
出力番号	出力するデジタル出力番号 (1~8) を入力します。
遠隔コマンド	入力トリガ成立時、遠隔コマンド送信を '有り/無し' に設定します。
コマンド番号	7：遠隔コマンド設定で登録されたコマンド番号 (1~10) を入力します。
トラップ用入力ポーリング間隔	トラップの入力状態監視間隔 (50~2147483646msec) を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。





## 4.1.3 DO設定画面



画面の説明	
論理設定	出力の論理を設定します。 A 接点 : ON 信号で接点を閉じる B 接点 : ON 信号で接点を開く
認証エラー時 : DO 出力	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、デジタル出力を '有り/無し' に設定します。 ※1
出力番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、デジタル出力する番号 (1~8) を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

※1 認証エラー時の DO 出力後、出力状態を元の状態に戻すにはユーザーによる以下の操作が必要です。

- ・ DO の状態を元に戻す方法
  - クリアスイッチ (全ビットクリアされます) (2.5 参照)
  - 遠隔コマンド機能 (3.1.8 参照)
  - DIO サーバー機能 (ビット操作は出来ません) (3.1.10 参照)
  - SNMP 機能 (4.3 参照)

## 4.1.4 SNMP設定画面

設定メニュー

- 1:基本ネットワーク設定
- 2:D設定
- 3:DO設定
- 4:SNMP設定
- 5:SMTP設定
- 6:DIOサーバー設定
- 7:遠隔コマンド設定
- 8:ユニット監視設定
- 9:ユーザー設定
- 10:クリアSW

### SNMP設定

SNMPポート番号  
161

リードコミュニティ名  
public

リードライトコミュニティ名  
public

TRAP1: 送信先IP 0.0.0.0 送信ポート 162 コミュニティ名 public リトライ回数 0 リトライ間隔(秒) 30

TRAP2: 送信先IP 0.0.0.0 送信ポート 162 コミュニティ名 public リトライ回数 0 リトライ間隔(秒) 30

TRAP3: 送信先IP 0.0.0.0 送信ポート 162 コミュニティ名 public リトライ回数 0 リトライ間隔(秒) 30

TRAP4: 送信先IP 0.0.0.0 送信ポート 162 コミュニティ名 public リトライ回数 0 リトライ間隔(秒) 30

認証エラー時: SNMPトラップ  有り  無し    トラップ番号(1-4) 0

[TOPページ](#)

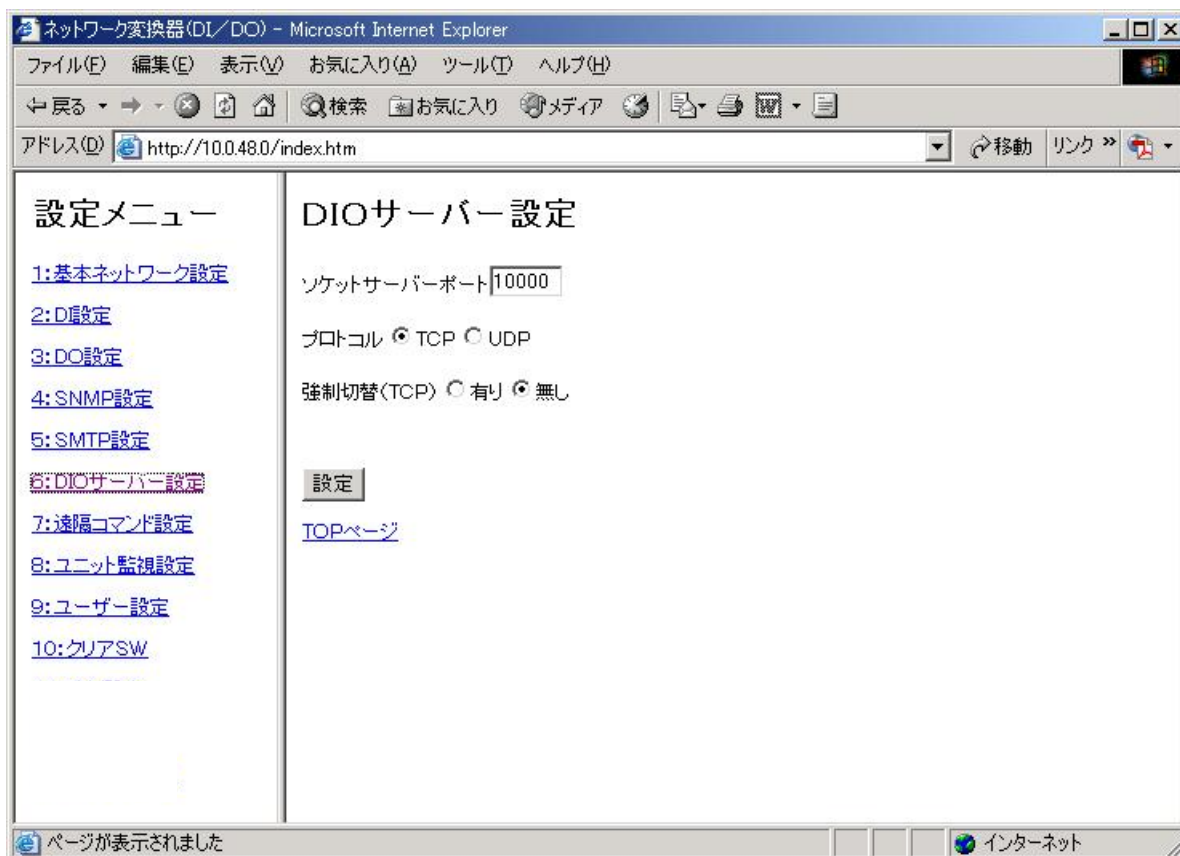
画面の説明	
SNMP ポート番号	SNMP エージェント機能で使用するポートを設定します。(初期値: 161)
リードコミュニティ名	リードコミュニティ名を設定します。(初期値: public)
リードライト コミュニティ名	リードライトコミュニティ名を設定します。(初期値: public)
トラップ送信先 IP	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
トラップ送信ポート	トラップ送信先のポート番号を入力します。
トラップコミュニティ名	コミュニティ名を入力します。
トラップリトライ回数 ※1	リトライ回数を入力します。(0~65535(回))
トラップリトライ間隔 ※1	リトライ間隔を入力します。(1~2147483646(ms))
認証エラー時: SNMP トラップ	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、トラップ送信を '有り/無し' に設定します。
トラップ番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、トラップ送信する番号 (1~4) を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

※1 トラップ送信要因発生時、リトライ回数分だけリトライ間隔をあけてトラップを送信します。

## 4.1.5 SMTP設定画面

画面の説明	
SMTP サーバー名	SMTP サーバーを設定します。 IP アドレス、またはドメインネームで設定してください。 ドメインネームを設定する場合は DNS の IP アドレス設定が必要です。
POP3 サーバー名	POP3 サーバーを設定します。 SMTP サーバーへの接続に POP before SMTP による認証が必要な場合に設定します。 IP アドレス、またはドメインネームで設定してください。 ドメインネームを設定する場合は DNS の IP アドレス設定が必要です。
DNS IP アドレス	DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
アカウント	メールアカウントを設定します。(メールアドレスの書式で入力してください。) 例 <a href="mailto:XXX@patlite.co.jp">XXX@patlite.co.jp</a>
パスワード	POP3 サーバーのパスワードを設定します。
署名	署名を入力します。(半角英数 255 文字まで)
送信先	メールの送信先を入力します。(半角英数 255 文字まで)
題目	メールの題目を入力します。(半角英数 63 文字まで)
内容	メールの内容を入力します。(半角英数 255 文字まで)
認証エラー時:メール発信	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール送信を '有り/無し' に設定します。
メール送信先番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール送信先の番号 (1~5) を入力します。
メール内容番号	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、メール内容の番号 (1~10) を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

## 4.1.6 DIOサーバー設定画面



画面の説明	
ソケットサーバーポート	DIO サーバー機能で使用するポート番号を入力します。
プロトコル	TCP/UDP のどちらで使用するかを設定します。
強制切替	強制切り替え機能を '有り/無し' に設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

## 4.1.7 遠隔コマンド設定画面

設定メニュー

- 1:基本ネットワーク設定
- 2:D設定
- 3:DO設定
- 4:SNMP設定
- 5:SMTP設定
- 6:DIOサーバー設定
- 7:遠隔コマンド設定
- 8:ユニット監視設定
- 9:ユーザー設定
- 10:クリアSW

遠隔コマンド設定

コマンド1: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド2: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド3: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド4: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド5: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド6: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド7: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド8: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド9: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

コマンド10: 送信先IPアドレス  ユーザー名  コマンド

認証エラー時: 遠隔コマンド  有り  無し コマンド番号(1-10)

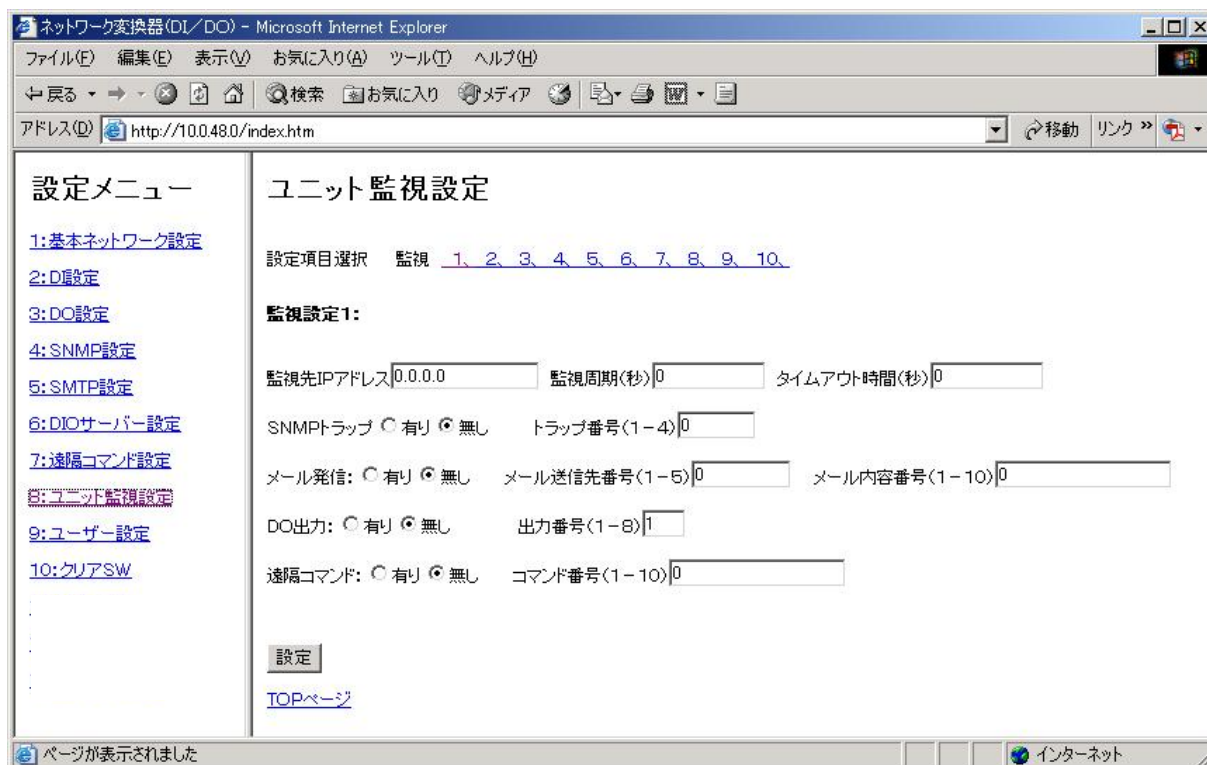
[TOPページ](#)

ページが表示されました

インターネット

画面の説明	
監視先 IP アドレス	遠隔操作対象の IP アドレス (クライアント側) を入力します。
ユーザー名	遠隔コマンドでのユーザー名を入力します。(31 文字まで)
コマンド	送信するコマンドを入力します。(255 文字まで)
認証エラー時	telnet、ftp、web での認証エラー発生時、遠隔コマンドの番号 (1~10) を入力します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

## 4.1.8 ユニット監視設定画面



画面の説明	
設定項目選択	1～10のどの監視対象機器の設定を行うかを選択します。
監視先IPアドレス	監視対象機器のIPアドレスを入力します。
監視周期	監視周期 (0～2147483646 秒) を入力します。
タイムアウト時間	タイムアウト時間 (0～2147483646 秒) を入力します。
SNMPトラップ	監視異常発生時、SNMPトラップ送信を '有り/無し' に設定します。
トラップ番号	5 : SNMP設定で登録されたトラップ番号 (1～4) を入力します。
メール発信	監視異常発生時、メール発信を '有り/無し' に設定します。
メール送信先番号	5 : SMTP設定で登録された送信先番号 (1～5) を入力します。
メール内容番号	5 : SMTP設定で登録された送信内容番号 (1～10) を入力します。
DO出力	監視異常発生時、デジタル出力を '有り/無し' に設定します。※1
出力番号	デジタル出力する番号 (1～8) を入力します。
遠隔コマンド	監視異常発生時、遠隔コマンド送信を '有り/無し' に設定します。
コマンド番号	遠隔コマンド設定内で登録される番号 (1～10) を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

※1 ユニット監視エラー発生時のDO出力後、出力状態を元の状態に戻すにはユーザーによる以下の操作が必要です。

- ・DOの状態を元に戻す方法
  - クリアスイッチ (全ビットクリアされます) (2.5 参照)
  - 遠隔コマンド機能 (3.1.8 参照)
  - DIOサーバー機能 (ビット操作は出来ません) (3.1.10 参照)
  - SNMP機能 (4.3 参照)

## 4.1.9 USER設定画面

設定メニュー

- [1:基本ネットワーク設定](#)
- [2:D設定](#)
- [3:DO設定](#)
- [4:SNMP設定](#)
- [5:SMTP設定](#)
- [6:DIOサーバー設定](#)
- [7:遠隔コマンド設定](#)
- [8:ユニット監視設定](#)
- [9:ユーザー設定](#)
- [10:クリアSW](#)

## USER設定

**TELNET:**  
ユーザ名  パスワード

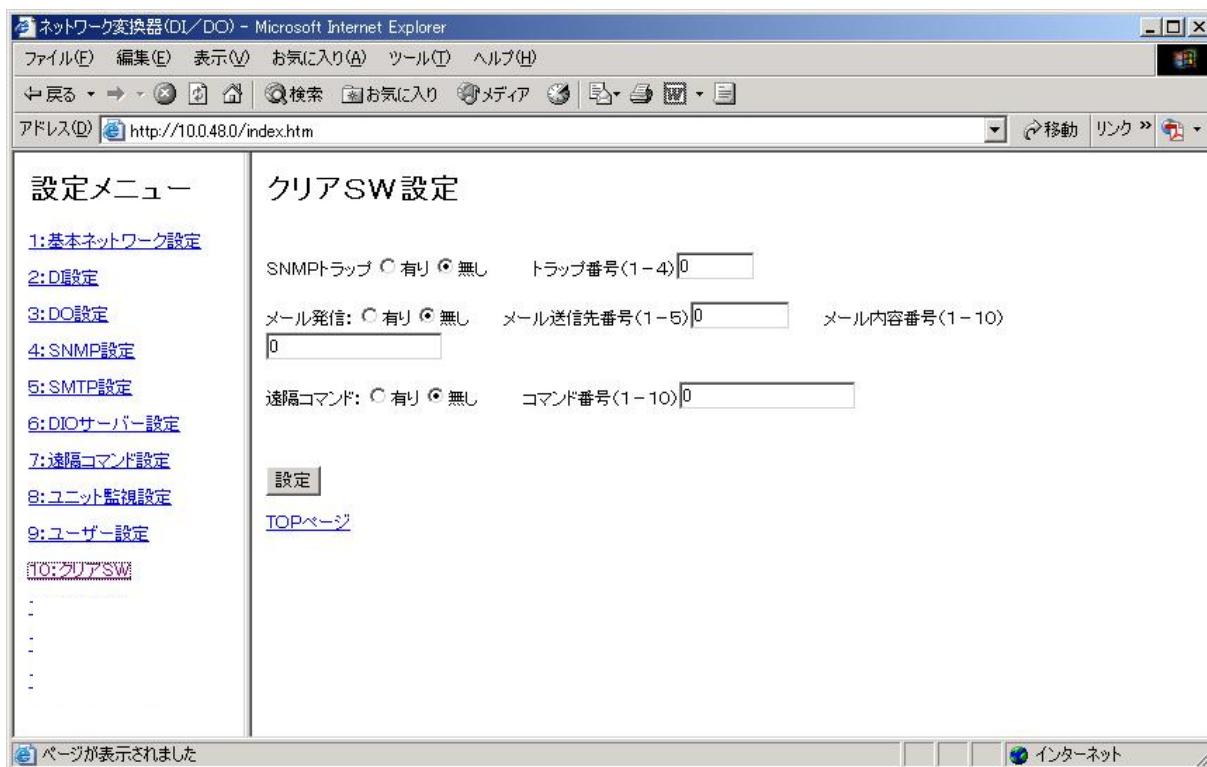
**FTP:**  
ユーザ名  パスワード

**WEB:**  
ユーザ名  パスワード

[TOPページ](#)

画面の説明	
TELNET ユーザー名	TELNET 認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
TELNET パスワード	TELNET 認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
FTP ユーザー名	FTP 認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
FTP パスワード	FTP 認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
WEB ユーザー名	ブラウザ認証で使用するユーザー名を入力します。(63 文字まで、ブランク可)
WEB パスワード	ブラウザ認証で使用するパスワードを入力します。(63 文字まで、ブランク可)
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。

## 4.1.10 クリアSW設定画面

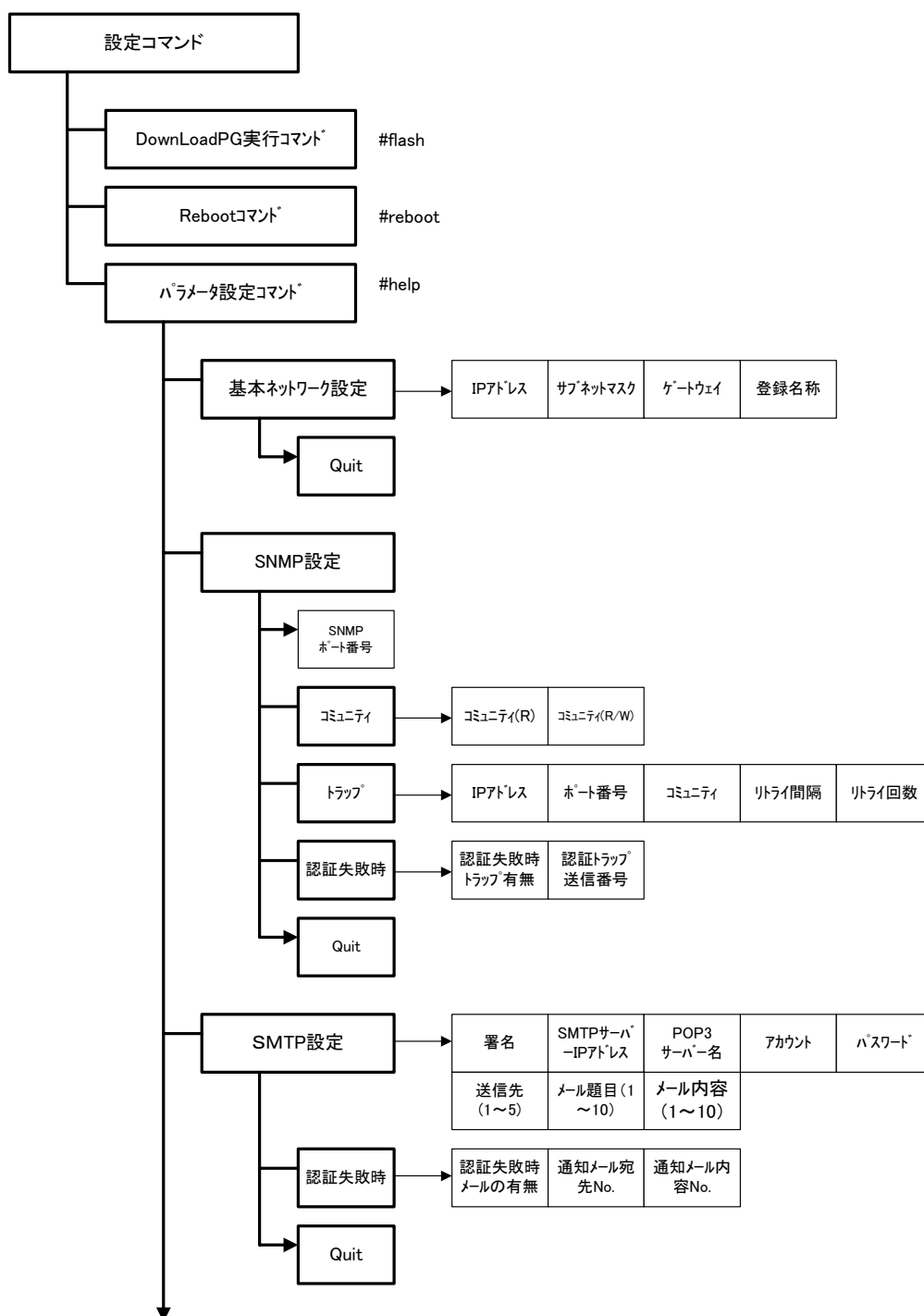


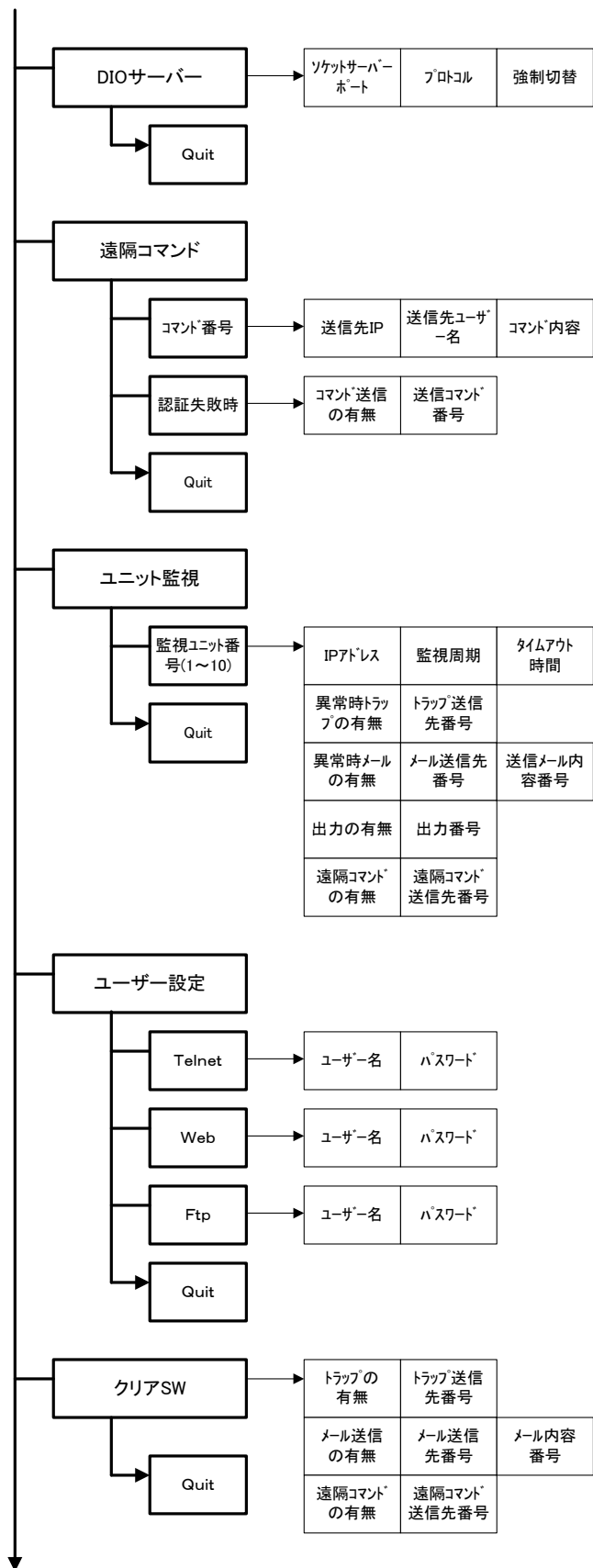
画面の説明	
SNMP トラップ	クリアスイッチ押下時、SNMP トラップ送信を '有り/無し' に設定します。
トラップ番号	5 : SNMP 設定で登録されたトラップ番号 (1~4) を入力します。
メール発信	監視異常発生時、メール発信を '有り/無し' に設定します。
メール送信先番号	5 : SMTP 設定で登録された送信先番号 (1~5) を入力します。
メール内容番号	5 : SMTP 設定で登録された送信内容番号 (1~10) を入力します。
遠隔コマンド	クリアスイッチ押下時、遠隔コマンド送信を '有り/無し' に設定します。
コマンド番号	遠隔コマンド設定内で登録される番号 (1~10) を設定します。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。



## 4.2 TELNET からの設定

## 4.2.1 コマンドツリー





## 4.2.2 コマンド詳細

#flash コマンド FTP で転送したファームウェアをフラッシュに書き込みます。

例) #flash d88.mot  
 プログラムを書き換えますか(Yes/No)=Yes  
 Convert...  
 Convert OK  
 Erase&Write...  
 Erase&Write OK

#help コマンド 設定項目メニュー画面を表示します。

4.2.3[基本ネットワーク設定メニュー]～4.2.12[クリア SW 設定メニュー]を参照ください。

#reboot コマンド ユニット本体のリセットを行います。

例) #reboot  
 ReBoot します(Yes/No) =

#ver コマンド ソフトウェアバージョンを表示します。

例) #ver  
 BOOT プログラムバージョン：  
 ROMW プログラムバージョン：  
 ファームウェアバージョン：

## 4.2.3 基本ネットワーク設定メニュー

### 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバ 7:遠隔コマンド 8:エント監視  
 9:USER 10:クリアSW 0:QUIT

>1 (メインメニューより[基本ネットワーク]を選択)

### 【基本ネットワーク設定メニュー】

1:IPアドレス 2:サブネットマスク 3:ゲートウェイ 4:登録名称 0:QUIT

>1 (基本ネットワーク設定メニューより[IPアドレス]を選択)

現在の IP アドレス = xxx.xxx.xxx.xxx

IP アドレス =

>2 (基本ネットワーク設定メニューより[サブネットマスク]を選択)

現在のサブネットマスク = xxx.xxx.xxx.xxx

サブネットマスク =

>3 (基本ネットワーク設定メニューより[ゲートウェイ]を選択)

現在のゲートウェイ = xxx.xxx.xxx.xxx

ゲートウェイ =

>4 (基本ネットワーク設定メニューより[登録名称]を選択)

現在の登録名称 =

登録名称 =

## 4.2.4 DI 設定メニュー

<p>【メインメニュー】</p> <p>1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバ 7:遠隔コマンド 8:エント監視</p> <p>9:USER 10:クリアSW 0:QUIT</p>
<p>&gt;2 (メインメニューより[DI]を選択)</p>
<p>【DI 入力設定メニュー】</p> <p>1:トラップ 周期 2:入力設定 0:QUIT</p>
<p>&gt;1 (DI 入力設定メニューより[トラップ 周期]を選択)</p>
<p>現在のトラップ 周期(ms) = **</p> <p>トラップ 周期(ms)</p>
<p>&gt;2 (DI 入力設定メニューより[入力設定]を選択)</p>
<p>設定を行なう入力番号(1-8) = *</p> <p>現在の論理(0=A 接点、1=B 接点) = 0</p> <p>論理 =</p> <p>現在のトラップ 発生(0:無し 1:立上り 2:立下り 3:両方) = 0</p> <p>トラップ 発生 =</p> <p>現在のトラップ の有無 = No</p> <p>トラップ の有無(y/n) =</p> <p>現在のトラップ 送信先番号 = 0</p> <p>トラップ 送信先番号(1-4) =</p> <p>現在のメール送信の有無 = No</p> <p>メール送信の有無(y/n) =</p> <p>現在のメール送信先番号 = 0</p> <p>メール送信先番号(1-5) =</p> <p>現在の送信メール内容番号 = 0</p> <p>送信メール内容番号(1-10) =</p> <p>現在の出力の有無 = No</p> <p>出力の有無(y/n) =</p> <p>現在の出力番号 = 0</p> <p>出力番号(1-8) =</p> <p>現在の遠隔コマンドの有無 = No</p> <p>遠隔コマンドの有無(y/n) =</p> <p>現在の遠隔コマンド 番号 = 0</p> <p>遠隔コマンド 番号(1-10) =</p>

## 4.2.5 DO設定メニュー

## 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバー 7:遠隔マウント 8:ユニット監視  
9:USER 10:列アSW 0:QUIT

>1 (メインメニューより[DO]を選択)

## 【DO出力設定メニュー】

1:論理定義 2:認証失敗時 0:QUIT

>1 (DO出力設定メニューより[論理定義]を選択)

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do1 = 0

論理 Do1 =

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do2 = 0

論理 Do2 =

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do3 = 0

論理 Do3 =

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do4 = 0

論理 Do4 =

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do5 = 0

論理 Do5 =

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do6 = 0

論理 Do6 =

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do7 = 0

論理 Do7 =

現在の論理(0=A接点,1=B接点) Do8 = 0

論理 Do8 =

>2 (DO出力設定メニューより[認証失敗時]を選択)

現在の出力の有無 = No

出力の有無(y/n)

現在の出力番号 =

出力番号(1-8) =

## 4.2.6 SNMP設定メニュー

<p><b>【メインメニュー】</b>  1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバ 7:遠隔マント 8:エント監視  9:USER 10:列ア SW 0:QUIT</p>
<p>&gt;4 (メインメニューより[SNMP]を選択)</p>
<p><b>【SNMP 設定メニュー】</b>  1:SNMPポート番号 2:コミュニティ 3:TRAP 4:認証トラップ 0:QUIT</p>
<p>&gt;1 (SNMP 設定メニューより[SNMPポート番号]を選択)</p>
<p>現在のSNMPポート番号 = 161  SNMPポート番号 =</p>
<p>&gt;2 (SNMP 設定メニューより[コミュニティ]を選択)</p>
<p>現在のコミュニティ =  1:コミュニティ(R) 2:コミュニティ(R/W)=</p>
<p>&gt;1 (現在のコミュニティメニューより[コミュニティ(R)]を選択)</p>
<p>現在のコミュニティ(R) =  コミュニティ(R) =</p>
<p>&gt;2 (現在のコミュニティメニューより[コミュニティ(R/W)]を選択)</p>
<p>現在のコミュニティ(R/W) =  コミュニティ(R/W) =</p>
<p>&gt;3 (SNMP 設定メニューより[TRAP]を選択)</p>
<p>現在のTRAP番号(1-4) =  TRAP番号(1-4) =</p>
<p>&gt;4 (SNMP 設定メニューより[認証トラップ]を選択)</p>
<p>現在の認証トラップの有無 =  認証トラップの有無(y/n) =   現在のトラップ送信先番号 =  トラップ送信先番号(1-4) =</p>

## 4.2.7 SMTP設定メニュー

## 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバ 7:遠隔マウント 8:エント監視  
9:USER 10:列ア SW 0:QUIT

>5 (メインメニューより[SMTP]を選択)

## 【SMTP 設定メニュー】

1:署名 2: SMTPサーバ名 3:POP3サーバ名 4::DNS IPアドレス 5:アカウント  
6:パスワード 7: 送信先 8:題目 9:内容 10:認証失敗時 0:QUIT

>1 (SMTP 設定メニューより[署名]を選択)

現在の署名 =

署名 =

>2 (SMTP 設定メニューより[SMTPサーバ名]を選択)

現在のSMTPサーバ名 =

SMTPサーバ名 =

>3 (SMTP 設定メニューより[POP3サーバ名]を選択)

現在のPOP3サーバ名 =

POP3サーバ名 =

>4 (SMTP 設定メニューより[DNS IPアドレス]を選択)

現在のDNS IPアドレス =

DNS IPアドレス =

>5 (SMTP 設定メニューより[アカウント]を選択)

現在のアカウント =

アカウント =

>6 (SMTP 設定メニューより[パスワード]を選択)

現在のパスワード =

パスワード =

>7 (SMTP 設定メニューより[送信先]を選択)

現在の送信先番号 =

送信先番号(1-5) =

>8 (SMTP 設定メニューより[題目]を選択)

現在の題目番号 =

題目番号(1-10) =

>9 (SMTP 設定メニューより[内容]を選択)

現在の内容番号 =

内容番号(1-10) =

>10 (SMTP 設定メニューより [認証失敗時] を選択)

現在のメール送信の有無 =

メール送信の有無(y/n) =

現在のメール送信先番号 =

メール送信先番号(1-5) =

現在の送信メール内容 =

送信メール内容(1-10) =

#### 4.2.8 DIOサーバー設定メニュー

##### 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバー 7:遠隔コマンド 8:エント監視  
9:USER 10:クリアSW 0:QUIT

>6 (メインメニューより [DIOサーバー] を選択)

##### 【DIOサーバー設定メニュー】

1:DIOサーバーポート 2:プロトコル 3:強制切替 0:QUIT

>1 (DIOサーバー)設定メニューより [DIOサーバーポート] を選択)

現在のDIOサーバーポート番号 =

DIOサーバーポート番号(5001-65535) =

>2 (DIOサーバー)設定メニューより [プロトコル] を選択)

現在のプロトコル =

プロトコル(0:TCP 1:UDP) =

>3 (DIOサーバー)設定メニューより [強制切替] を選択)

現在の強制切替の有無 =

強制切替の有無(y/n) =



## 4.2.9 遠隔コマンド設定メニュー

## 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバー 7:遠隔コマンド 8:エント監視  
9:USER 10:クリアSW 0:QUIT

>7 (メインメニューより[遠隔コマンド]を選択)

## 【遠隔コマンド設定メニュー】

1:コマンド設定 2:認証失敗時 0:QUIT

>1 遠隔コマンド設定メニューより[コマンド設定]を選択)

コマンド番号(1-10) =

現在のコマンド送信先 IPアドレス =

コマンド送信先 IPアドレス =

現在の送信先ユーザー名 =

送信先ユーザー名 =

現在のコマンド内容 =

コマンド内容 =

>2 遠隔コマンド設定メニューより[認証失敗時]を選択)

現在のコマンド送信の有無 =

コマンド送信の有無(y/n) =

現在のコマンド送信先番号 =

コマンド送信先番号(1-10) =

## 4.2.10 ユニット監視設定メニュー

## 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバー 7:遠隔コマンド 8:ユニット監視  
9:USER 10:列ア SW 0:QUIT

>8 (メインメニューより[ユニット監視]を選択)

## 【ユニット監視設定メニュー】

1:監視ユニット設定 0:QUIT

>1 (ユニット監視設定メニューより[監視ユニット設定]を選択)

設定を行うユニット番号(1-10) =

現在のユニット監視 IP アドレス =

ユニット監視 IP アドレス =

現在の監視周期(s) =

監視周期(s) =

現在の監視タイムアウト時間(s) =

監視タイムアウト時間(s) =

現在のトラップの有無 =

トラップの有無(y/n) =

現在のトラップ送信先番号 =

トラップ送信先番号(1-4) =

現在のメール送信の有無 =

メール送信の有無(y/n) =

現在のメール送信先番号 =

メール送信先番号(1-5) =

現在の送信メール内容番号 =

送信メール内容番号(1-10) =

現在の出力の有無 =

出力の有無(y/n) =

現在の出力番号 =

出力番号(1-8) =

現在の遠隔コマンドの有無 =

遠隔コマンドの有無(y/n) =

現在の遠隔コマンド番号 =

遠隔コマンド番号(1-10) =

## 4.2.11 USER設定メニュー

## 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバー 7:遠隔マウント 8:エント監視  
9:USER 10:列ア SW 0:QUIT

>9 (メインメニューより [USER] を選択)

## 【USER 設定メニュー】

1:Telnet ユーザー名 2:Telnet パスワード 3:Web ユーザー名 4:Web パスワード  
5:FTP ユーザー名 6:FTP パスワード 0:QUIT

>1 (USER 設定メニューより [Telnet ユーザー名] を選択)

現在の Telnet ユーザー名 =  
Telnet ユーザー名 =

>2 (USER 設定メニューより [Telnet パスワード] を選択)

現在の Telnet パスワード =  
Telnet パスワード =

>3 (USER 設定メニューより [Web ユーザー名] を選択)

現在の Web ユーザー名 =  
Web ユーザー名 =

>4 (USER 設定メニューより [Web パスワード] を選択)

現在の Web パスワード =  
Web パスワード =

>5 (USER 設定メニューより [FTP ユーザー名] を選択)

現在の FTP ユーザー名 =  
FTP ユーザー名 =

>6 (USER 設定メニューより [FTP パスワード] を選択)

現在の FTP パスワード =  
FTP パスワード =

## 4.2.12 クリアSW設定メニュー

## 【メインメニュー】

1:基本ネットワーク 2:DI 3:DO 4:SNMP 5:SMTP 6:DIOサーバー 7:遠隔コマンド 8:エント監視  
9:USER 10:クリアSW 0:QUIT

>10 (メインメニューより[クリアSW]を選択)

## 【クリアSW設定メニュー】

1:クリアSW 0:QUIT

>1 (クリアSW設定メニューより[クリアSW設定]を選択)

現在のトラップの有無 =

トラップの有無(y/n) =

現在のトラップ送信先番号 =

トラップ送信先番号(1-4) =

現在のメール送信の有無 =

メール送信の有無(y/n) =

現在のメール送信先番号 =

メール送信先番号(1-5) =

現在の送信メール内容番号 =

送信メール内容番号(1-10) =

現在の遠隔コマンドの有無 =

遠隔コマンドの有無(y/n) =

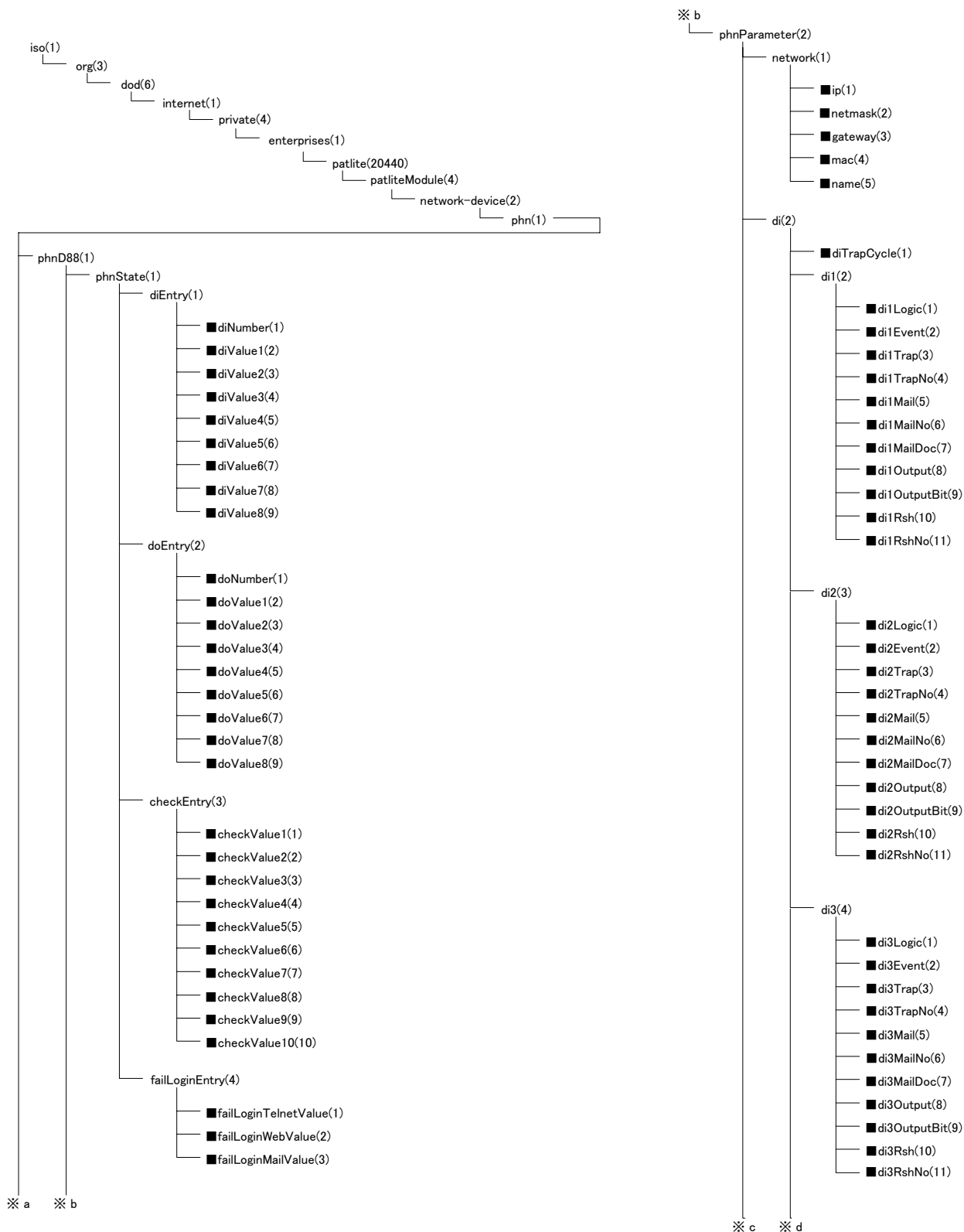
現在の遠隔コマンド番号 =

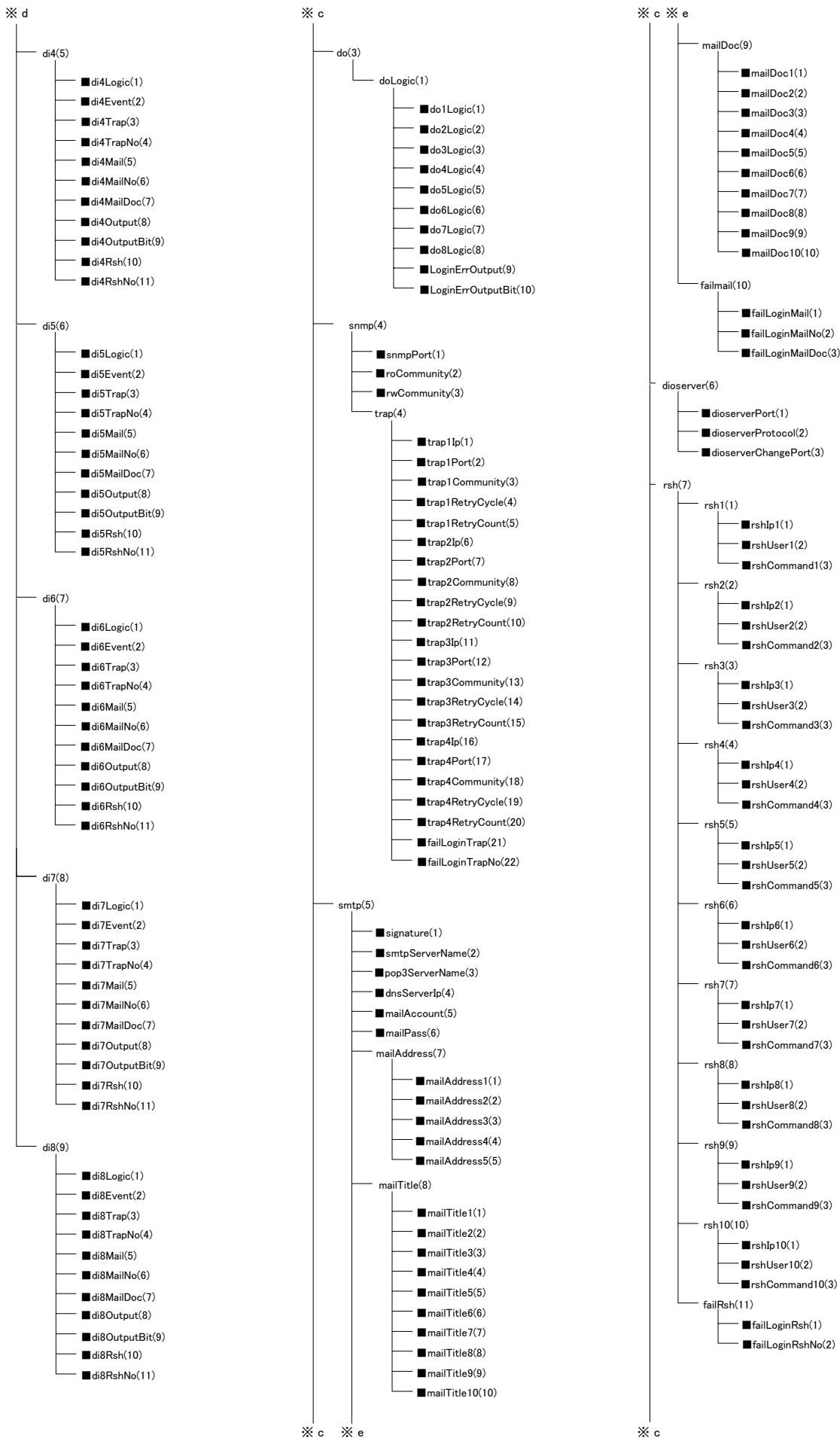
遠隔コマンド番号(1-10) =

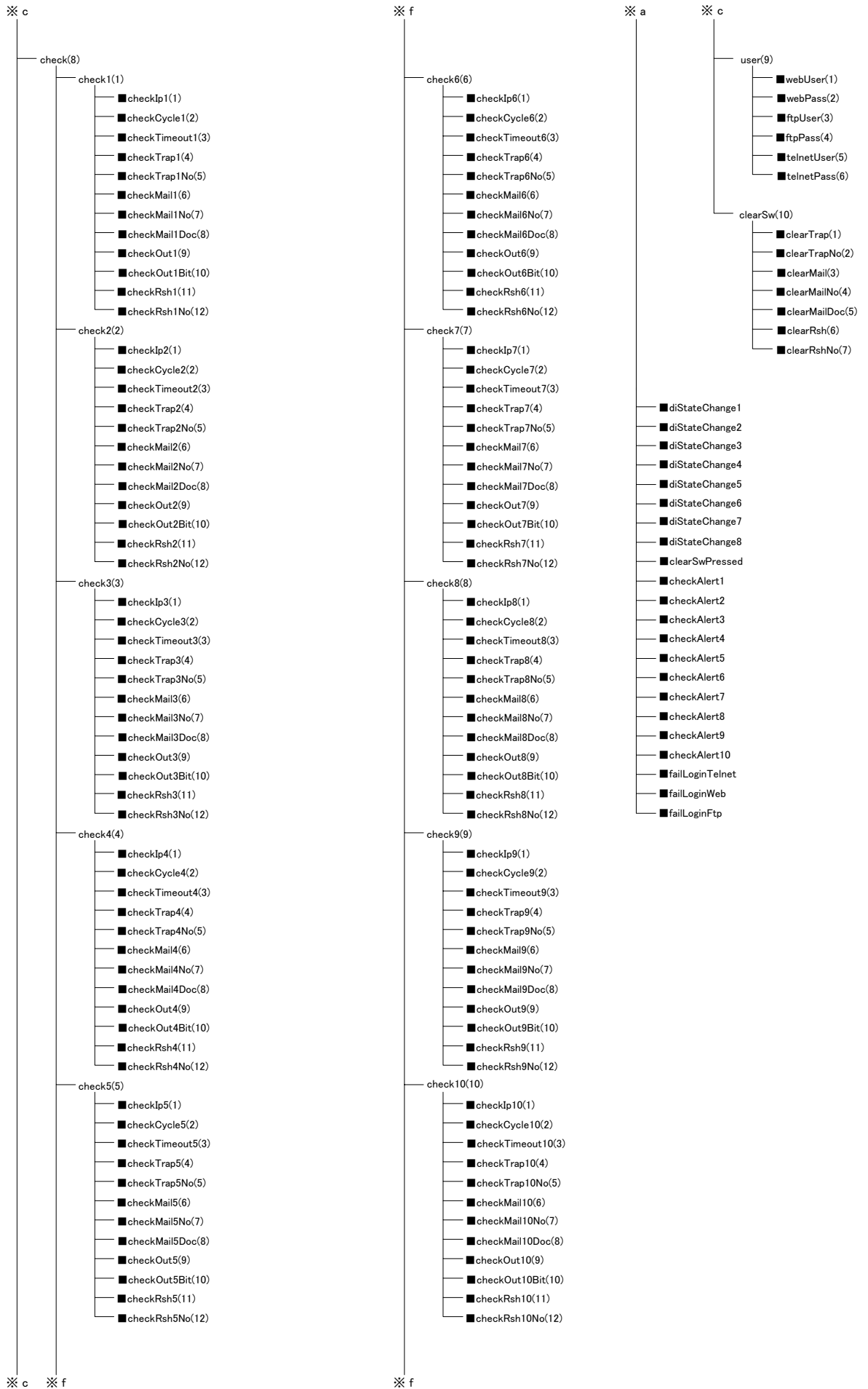
### 4.3 SNMP からの設定

SNMP SET コマンドにより本ユニットの設定及び I/O の監視制御が行えます。

#### 4.3.1 専用 MIB 定義一覧







### 4.3.2 専用MIBオブジェクト解説

#### 4.3.2.1 [patliteModuleGroup]

(enterprises. patlite.. 4)

patliteModule グループはパトライトの製品シリーズを識別する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	network-device	—	(4.3.2.2)

#### 4.3.2.2 [network-device Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule. 2)

network-device グループはネットワークデバイス製品シリーズの為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	phn	—	(4.3.2.3)

#### 4.3.2.3 [phn Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule. network-device. 1)

phn グループはネットワークデバイス製品シリーズを識別する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	phnD88	—	(4.3.2.4)

#### 4.3.2.4 [phnD88 Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule. network-device. phn. 1)

phnD88 グループはPHN シリーズD88 ユニットを管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	phnState	—	(4.3.2.5)
2	phnParameter	—	(4.3.2.10)

#### 4.3.2.5 [phnState Group]

(enterprises. patlite.. patliteModule. network-device. phn. phnD88. 1)

phnState グループはユニットのステータスを管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diEntry	—	(4.3.2.6)
2	doEntry	—	(4.3.2.7)
3	checkEntry	—	(4.3.2.8)
4	failLoginEntry	—	(4.3.2.9)



## 4.3.2.6 [diEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.1)

diEntry グループはデジタル入力の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diNumber	R	デジタル入力の I/O 点数
2	diValue1	R	デジタル入力 1 の状態 (0=OFF、1=ON)
3	diValue2	R	デジタル入力 2 の状態 (0=OFF、1=ON)
4	diValue3	R	デジタル入力 3 の状態 (0=OFF、1=ON)
5	diValue4	R	デジタル入力 4 の状態 (0=OFF、1=ON)
6	diValue5	R	デジタル入力 5 の状態 (0=OFF、1=ON)
7	diValue6	R	デジタル入力 6 の状態 (0=OFF、1=ON)
8	diValue7	R	デジタル入力 7 の状態 (0=OFF、1=ON)
9	diValue8	R	デジタル入力 8 の状態 (0=OFF、1=ON)

## 4.3.2.7 [doEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.2)

doEntry グループはデジタル出力の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	doNumber	R	デジタル出力の I/O 点数
2	doValue1	R/W	デジタル出力 1 の状態 (0=OFF、1=ON)
3	doValue2	R/W	デジタル出力 2 の状態 (0=OFF、1=ON)
4	doValue3	R/W	デジタル出力 3 の状態 (0=OFF、1=ON)
5	doValue4	R/W	デジタル出力 4 の状態 (0=OFF、1=ON)
6	doValue5	R/W	デジタル出力 5 の状態 (0=OFF、1=ON)
7	doValue6	R/W	デジタル出力 6 の状態 (0=OFF、1=ON)
8	doValue7	R/W	デジタル出力 7 の状態 (0=OFF、1=ON)
9	doValue8	R/W	デジタル出力 8 の状態 (0=OFF、1=ON)

## 4.3.2.8 [checkEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.3)

checkEntry グループはユニット監視の状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。ユニット監視エラー発生時、checkValue の値は 1 になります。

元の値に戻すにはユーザーの操作によって checkValue の値を 0 に書き換えてください。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	checkValue1	R/W	ユニット監視 1 の状態 (0=正常、1=監視異常)
2	checkValue2	R/W	ユニット監視 2 の状態 (0=正常、1=監視異常)
3	checkValue3	R/W	ユニット監視 3 の状態 (0=正常、1=監視異常)
4	checkValue4	R/W	ユニット監視 4 の状態 (0=正常、1=監視異常)
5	checkValue5	R/W	ユニット監視 5 の状態 (0=正常、1=監視異常)
6	checkValue6	R/W	ユニット監視 6 の状態 (0=正常、1=監視異常)
7	checkValue7	R/W	ユニット監視 7 の状態 (0=正常、1=監視異常)
8	checkValue8	R/W	ユニット監視 8 の状態 (0=正常、1=監視異常)
9	checkValue9	R/W	ユニット監視 9 の状態 (0=正常、1=監視異常)
10	checkValue10	R/W	ユニット監視 10 の状態 (0=正常、1=監視異常)

## 4.3.2.9 [failLoginEntry Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnState.4)

failLoginEntry グループは認証エラーの状態を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginTelnetValue	R/W	telnet 認証の状態 (0=正常、1=異常)
2	failLoginWebValue	R/W	web 認証の状態 (0=正常、1=異常)
3	failLoginMailValue	R/W	mail 認証の状態 (0=正常、1=異常)

## 4.3.2.10 [phncParameter Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.2)

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	network	—	(4.3.2.11)
2	di	—	(4.3.2.12)
3	do	—	(4.3.2.14)
4	snmp	—	(4.3.2.16)
5	sntp	—	(4.3.2.18)
6	dioserver	—	(4.3.2.23)
7	rsh	—	(4.3.2.24)
8	check	—	(4.3.2.27)
9	user	—	(4.3.2.29)
10	clearSw	—	(4.3.2.30)

## 4.3.2.11 [network Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.1)

network グループはネットワーク設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	ip	R	IP アドレス
2	netmask	R	サブネットマスク
3	gateway	R	ゲートウェイ
4	mac	R	MAC アドレス
5	name	R/W	機器名

## 4.3.2.12 [di Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.2)

di グループはデジタル入力設定を管理する為のグループです。以下のグループ/オブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diTrapCycle	R/W	入力トラップの監視周期
2	di1	—	(4.3.2.13)
3	di2	—	(4.3.2.13)
4	di3	—	(4.3.2.13)
5	di4	—	(4.3.2.13)
6	di5	—	(4.3.2.13)
7	di6	—	(4.3.2.13)
8	di7	—	(4.3.2.13)
9	di8	—	(4.3.2.13)

## 4. 3. 2. 13 [diX Group] ※Xは1～8の数値⇒デジタル入力1～8に対応

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.di. 2～9)  
diXグループはデジタル入力の個別設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	diXLogic	R/W	入力論理 (0=A 接点,1=B 接点)
2	diXEvent	R/W	イベント条件 (0=無し、1=ON 状態、2= OFF 状態、3= 状態)
3	diXTrap	R/W	イベント条件成立時、トラップ通知の有無 (0=無し、1=有り)
4	diXTrapNo	R/W	通知するトラップの登録番号
5	diXMail	R/W	イベント条件成立時、メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
6	diXMailNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
7	diXMailDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
8	diXOutput	R/W	イベント条件成立時、デジタル出力の有無 (0=無し、1=有り)
9	diXOutputBit	R/W	出力するデジタル出力の番号
10	diXRsh	R/W	イベント条件成立時、遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
11	diXRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

## 4. 3. 2. 14 [do Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter. 3)  
doグループはデジタル出力の設定を管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	doLogic	—	(4. 3. 2. 15)

## 4. 3. 2. 15 [doLogic Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.do. 1)  
doLogicグループはデジタル出力のこの設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	do1Logic	R/W	出力1 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
2	do2Logic	R/W	出力2 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
3	do3Logic	R/W	出力3 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
4	do4Logic	R/W	出力4 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
5	do5Logic	R/W	出力5 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
6	do6Logic	R/W	出力6 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
7	do7Logic	R/W	出力7 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
8	do8Logic	R/W	出力8 論理 (0=A 接点,1=B 接点)
9	LoginErrOutput	R/W	認証エラー時、デジタル出力の有無 (0=無し、1=有り)
10	LoginErrOutputBit	R/W	出力するデジタル出力の番号

## 4. 3. 2. 16 [snmp Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter. 4)  
snmpグループはSNMP設定を管理する為のグループです。以下のグループ/オブジェクトが登録されています

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	snmpPort	R/W	SNMPポート
2	roCommunity	R/W	リードコミュニティ名
3	rwCommunity	R/W	リードライトコミュニティ名
4	trap	—	(4. 3. 2. 17)

## 4. 3. 2. 17 [trap Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.Snmp.4)  
 トラップグループはSNMP トラップ設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	trap1Ip	R/W	トラップ1 送信先 IP
2	trap1Port	R/W	トラップ1 送信先ポート
3	trap1Community	R/W	トラップ1 送信コミュニティ名
4	trap1RetryCycle	R/W	トラップ1 送信リトライ間隔
5	trap1RetryCount	R/W	トラップ1 送信リトライ回数
6	trap2Ip	R/W	トラップ2 送信先 IP
7	trap2Port	R/W	トラップ2 送信先ポート
8	trap2Community	R/W	トラップ2 送信コミュニティ名
9	trap2RetryCycle	R/W	トラップ2 送信リトライ間隔
10	trap2RetryCount	R/W	トラップ2 送信リトライ回数
11	trap3Ip	R/W	トラップ3 送信先 IP
12	trap3Port	R/W	トラップ3 送信先ポート
13	trap3Community	R/W	トラップ3 送信コミュニティ名
14	trap3RetryCycle	R/W	トラップ3 送信リトライ間隔
15	trap3RetryCount	R/W	トラップ3 送信リトライ回数
16	trap4Ip	R/W	トラップ4 送信先 IP
17	trap4Port	R/W	トラップ4 送信先ポート
18	trap4Community	R/W	トラップ4 送信コミュニティ名
19	trap4RetryCycle	R/W	トラップ4 送信リトライ間隔
20	trap4RetryCount	R/W	トラップ4 送信リトライ回数
21	failLoginTrap	R/W	認証エラー時、トラップ送信の有無 (0=無し、1=有り)
22	failLoginTrapNo	R/W	送信トラップの登録番号

## 4. 3. 2. 18 [smtp Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.5)  
 smtp グループはSMTP 設定を管理する為のグループです。以下のグループ/オブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	signature	R/W	署名
2	smtpServerName	R/W	SMTP サーバー名
3	pop3ServerName	R/W	POP3 サーバー名
4	dnsServerIp	R/W	DNS サーバー IP アドレス
5	mailAccount	R/W	メールアカウント
6	mailPass	R/W	POP3 サーバーパスワード
7	mailAddress	R/W	(4. 3. 2. 19)
8	mailTitle	R/W	(4. 3. 2. 20)
9	mailDoc	R/W	(4. 3. 2. 21)
10	failmail	R/W	(4. 3. 2. 22)

## 4. 3. 2. 19 [mailAddress Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.7)  
 mailAddress グループはメール送信先のアドレスを管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailAddress1	R/W	送信先1 メールアドレス
2	mailAddress2	R/W	送信先2 メールアドレス
3	mailAddress3	R/W	送信先3 メールアドレス
4	mailAddress4	R/W	送信先4 メールアドレス
5	mailAddress5	R/W	送信先5 メールアドレス

## 4.3.2.20 [mailTitle Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.8)  
mailTitle グループは送信メールの題目を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailTitle1	R/W	送信メール題目 1
2	mailTitle2	R/W	送信メール題目 2
3	mailTitle3	R/W	送信メール題目 3
4	mailTitle4	R/W	送信メール題目 4
5	mailTitle5	R/W	送信メール題目 5
6	mailTitle6	R/W	送信メール題目 6
7	mailTitle7	R/W	送信メール題目 7
8	mailTitle8	R/W	送信メール題目 8
9	mailTitle9	R/W	送信メール題目 9
10	mailTitle10	R/W	送信メール題目 10

## 4.3.2.21 [mailDoc Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.9)  
mailDoc グループは送信メールの内容を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	mailDoc1	R/W	送信メール内容 1
2	mailDoc2	R/W	送信メール内容 2
3	mailDoc3	R/W	送信メール内容 3
4	mailDoc4	R/W	送信メール内容 4
5	mailDoc5	R/W	送信メール内容 5
6	mailDoc6	R/W	送信メール内容 6
7	mailDoc7	R/W	送信メール内容 7
8	mailDoc8	R/W	送信メール内容 8
9	mailDoc9	R/W	送信メール内容 9
10	mailDoc10	R/W	送信メール内容 10

## 4.3.2.22 [failmail Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.smtp.10)  
failmail グループは認証エラー時のメール送信設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginMail	R/W	認証エラー時、メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
2	failLoginMailNo	R/W	送信メール送信先登録番号
3	failLoginMailDoc	R/W	送信メール内容登録番号

## 4.3.2.23 [dioserver Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.6)  
dioserver グループはDIOServer 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	dioserverPort	R/W	dioserver ポート
2	dioserverProtocol	R/W	プロトコル (0=TCP、1=UDP)
3	dioserverChangePort	R/W	強制切替機能の有無 (0=無し、1=有り)

## 4.3.2.24 [rsh Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.7)  
rsh グループは遠隔コマンド設定を管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	rsh1	—	(4.3.2.25)
2	rsh2	—	(4.3.2.25)
3	rsh3	—	(4.3.2.25)
4	rsh4	—	(4.3.2.25)
5	rsh5	—	(4.3.2.25)
6	rsh6	—	(4.3.2.25)
7	rsh7	—	(4.3.2.25)
8	rsh8	—	(4.3.2.25)
9	rsh9	—	(4.3.2.25)
10	rsh10	—	(4.3.2.25)
11	failRsh	—	(4.3.2.26)

## 4.3.2.25 [rshX Group] ※Xは1～10の数値

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.rsh.1～10)  
rshX グループは遠隔コマンド設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	rshIpX	R/W	遠隔コマンド送信先 IP
2	rshUserX	R/W	遠隔コマンド送信先ユーザー名
3	rshCommandX	R/W	遠隔コマンド送信コマンド

## 4.3.2.26 [failRsh Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.rsh.11)  
failRsh グループは認証エラー時の遠隔コマンド送信設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが設定されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	failLoginRsh	R/W	認証エラー時の遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
2	failLoginRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

## 4.3.2.27 [check Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter.8)  
check グループはユニット監視設定と管理する為のグループです。以下のグループが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	check1	—	(4.3.2.28)
2	check2	—	(4.3.2.28)
3	check3	—	(4.3.2.28)
4	check4	—	(4.3.2.28)
5	check5	—	(4.3.2.28)
6	check6	—	(4.3.2.28)
7	check7	—	(4.3.2.28)
8	check8	—	(4.3.2.28)
9	check9	—	(4.3.2.28)
10	check10	—	(4.3.2.28)

## 4. 3. 2. 28 [checkn Group] ※n は 1～10 の数値

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter. check. 1～10)  
 checkX グループは個々のユニット監視設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	checkIpX	R/W	監視先ユニット IP アドレス
2	checkCycleX	R/W	監視周期
3	checkTimeoutX	R/W	監視タイムアウト時間
4	checkTrapX	R/W	監視エラー時、トラップ送信の有無 (0=無し、1=有り)
5	checkTrapXNo	R/W	送信するトラップの登録番号
6	checkMailX	R/W	監視エラー時、メール送信の有無 (0=無し、1=有り)
7	checkMailXNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
8	checkMailXDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
9	checkOutX	R/W	監視エラー時、デジタル出力の有無 (0=無し、1=有り)
10	checkOutXBit	R/W	出力するデジタル出力の番号
11	checkRsh	R/W	監視エラー時、遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
12	checkRshXNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

## 4. 3. 2. 29 [user Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter. 9)  
 user グループはユーザー認証設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	webUser	R/W	web 認証ユーザー名
2	webPass	R/W	web 認証パスワード
3	ftpUser	R/W	ftp 認証ユーザー名
4	ftpPass	R/W	ftp 認証パスワード
5	telnetUser	R/W	telnet 認証ユーザー名
6	telnetPass	R/W	telnet 認証パスワード

## 4. 3. 2. 30 [clearSw Group]

(enterprises.patlite.. patliteModule.network-device. phn. phnD88.phnParameter. 10)  
 clearSw グループはクリア SW 設定を管理する為のグループです。以下のオブジェクトが登録されています。

OID	オブジェクト	タイプ	内容
1	clearTrap	R/W	クリア SW 押下時のトラップ送信の有無 (0=無し、1=有り)
2	clearTrapNo	R/W	送信するトラップの登録番号
3	clearMail	R/W	クリア SW 押下時のメール送信の有無 (0=無し、1=有り)
4	clearMailNo	R/W	送信するメール送信先の登録番号
5	clearMailDoc	R/W	送信するメール内容の登録番号
6	clearRsh	R/W	クリア SW 押下時の遠隔コマンド送信の有無 (0=無し、1=有り)
7	clearRshNo	R/W	送信する遠隔コマンドの登録番号

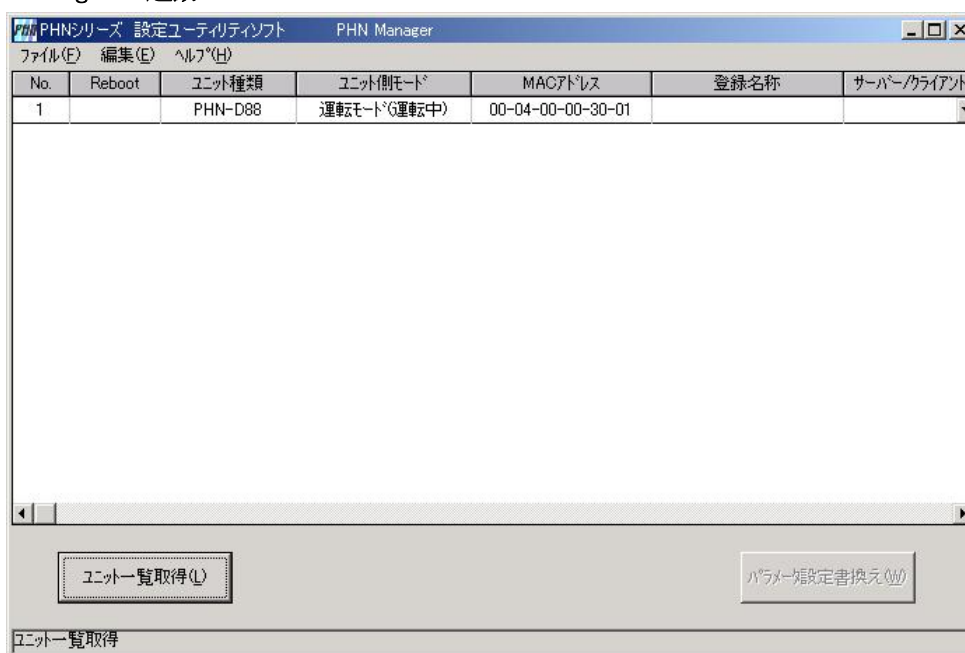
## 4.3.3 SNMP トラップ定義一覧

TRAP コード	名前	特定コード	TRAP 要因
0	coldStart	0	D88 の電源投入後もしくはリセット後 SNMP が初期化された
1	warmStart	0	未実装
2	linkDown	0	未実装
3	linkUp	0	未実装
4	authenticationFailure	0	SNMP マネージャーから無効なコミュニティメッセージを受信
5	egpNeighborLoss	0	未実装
6	diStateChange1	1000	diValue1 の状態変化
	diStateChange2	1001	diValue2 の状態変化
	diStateChange3	1002	diValue3 の状態変化
	diStateChange4	1003	diValue4 の状態変化
	diStateChange5	1004	diValue5 の状態変化
	diStateChange6	1005	diValue6 の状態変化
	diStateChange7	1006	diValue7 の状態変化
	diStateChange8	1007	diValue8 の状態変化
	clearSwPressed	1008	クリア SW が押された
		1009	未使用
	checkAlert1	1010	ユニット監視 1 異常発生
	checkAlert2	1011	ユニット監視 2 異常発生
	checkAlert3	1012	ユニット監視 3 異常発生
	checkAlert4	1013	ユニット監視 4 異常発生
	checkAlert5	1014	ユニット監視 5 異常発生
	checkAlert6	1015	ユニット監視 6 異常発生
	checkAlert7	1016	ユニット監視 7 異常発生
	checkAlert8	1017	ユニット監視 8 異常発生
	checkAlert9	1018	ユニット監視 9 異常発生
	checkAlert10	1019	ユニット監視 10 異常発生
	failLoginTelnet	1020	認証エラー (telnet) が発生
	failLoginWeb	1021	認証エラー (web) が発生
failLoginFtp	1022	認証エラー (ftp) が発生	



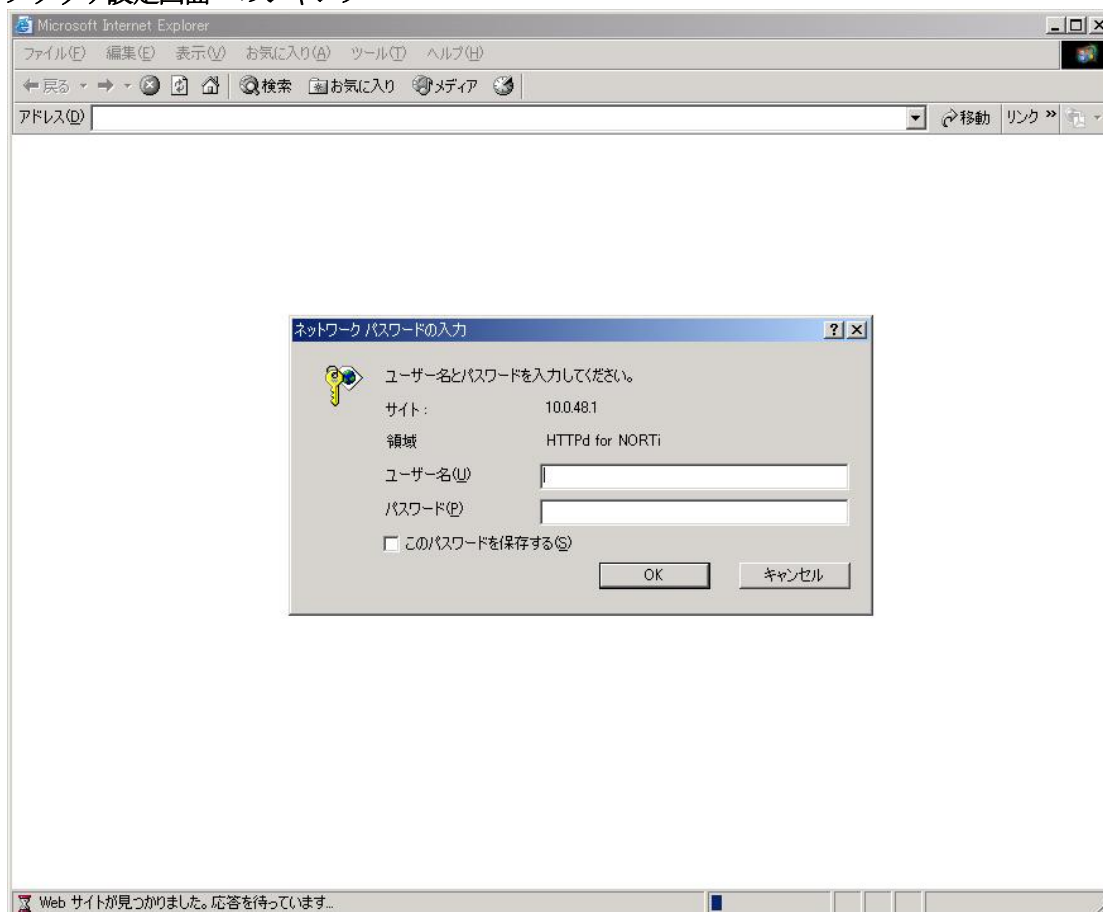
## 4.4 PHN マネージャーからの設定

### 4.4.1 PHNManager の起動



PHNManager 起動後、ユニット一覧取得ボタン押下にてユニット情報を表示します。

### 4.4.2 ブラウザ設定画面へのジャンプ



PHNManager に表示されるユニット情報欄をダブルクリックするとブラウザ設定画面へジャンプします。

※ブラウザからの設定方法設定については、「4.1 ブラウザからの設定」を参照ください。

## 5 工場出荷時設定値一覧

表 5-1 工場出荷時設定一覧

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
基本 ネットワーク	ip	エント IP アドレス	10. X. X. X (*1)	0. 0. 0. 0 ~ 255. 255. 255. 255
	netmask	サブネットマスク	255. 0. 0. 0	0. 0. 0. 0 ~ 255. 255. 255. 255
	gateway	ゲートウェイ	0. 0. 0. 0	0. 0. 0. 0 ~ 255. 255. 255. 255
	name	登録名称		20 文字以内(半角英数)
デジタル 入力	diTrapCycle	トラップ 用入力ボタンの間隔	50msec	50~2147483646 (50mSの倍数)
	di1Logic	入力1 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di1Event	入力1 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di1Trap	入力1 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有
	di1TrapNo	入力1 トラップ 送信先No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)
	di1Mail	入力1 メール送信有無	0	0=無、1=有
	di1MailNo	入力1 メール送信先No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)
	di1MailDoc	入力1 メール内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	di1Output	入力1 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di1OutputBit	入力1 任意の出力をON/OFF	0	1~8
	di1Rsh	入力1 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有
	di1RshNo	入力1 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	di2Logic	入力2 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di2Event	入力2 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di2Trap	入力2 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有
	di2TrapNo	入力2 トラップ 送信先No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)
	di2Mail	入力2 メール送信有無	0	0=無、1=有
	di2MailNo	入力2 メール送信先No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)
	di2MailDoc	入力2 メール内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	di2Output	入力2 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di2OutputBit	入力2 任意の出力をON/OFF	0	1~8
	di2Rsh	入力2 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有
	di2RshNo	入力2 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	di3Logic	入力3 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di3Event	入力3 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di3Trap	入力3 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有
	di3TrapNo	入力3 トラップ 送信先No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)
	di3Mail	入力3 メール送信有無	0	0=無、1=有
	di3MailNo	入力3 メール送信先No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)
	di3MailDoc	入力3 メール内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	di3Output	入力3 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di3OutputBit	入力3 任意の出力をON/OFF	0	1~8
di3Rsh	入力3 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有	
di3RshNo	入力3 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)	
di4Logic	入力4 入力論理	0	0=A接点、1=B接点	
di4Event	入力4 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方	
di4Trap	入力4 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有	
di4TrapNo	入力4 トラップ 送信先No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)	
di4Mail	入力4 メール送信有無	0	0=無、1=有	
di4MailNo	入力4 メール送信先No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)	
di4MailDoc	入力4 メール内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)	
di4Output	入力4 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有	
di4OutputBit	入力4 任意の出力をON/OFF	0	1~8	
di4Rsh	入力4 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有	
di4RshNo	入力4 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)	

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
デジタル 入力	di5Logic	入力5 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di5Event	入力5 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di5Trap	入力5 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有
	di5TrapNo	入力5 トラップ 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4) (同時設定可)
	di5Mail	入力5 メール送信有無	0	0=無、1=有
	di5MailNo	入力5 メール送信先No.	0	0~5(カナ区切り同時設定可)
	di5MailDoc	入力5 メール内容	0	0~10(カナ区切り同時設定可)
	di5Output	入力5 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di5OutputBit	入力5 任意の出力をON/OFF	0	1~8
	di5Rsh	入力5 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有
	di5RshNo	入力5 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10(カナ区切り同時設定可)
	di6Logic	入力6 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di6Event	入力6 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di6Trap	入力6 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有
	di6TrapNo	入力6 トラップ 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4) (同時設定可)
	di6Mail	入力6 メール送信有無	0	0=無、1=有
	di6MailNo	入力6 メール送信先No.	0	0~5(カナ区切り同時設定可)
	di6MailDoc	入力6 メール内容	0	0~10(カナ区切り同時設定可)
	di6Output	入力6 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di6OutputBit	入力6 任意の出力をON/OFF	0	1~8
	di6Rsh	入力6 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有
	di6RshNo	入力6 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10(カナ区切り同時設定可)
	di7Logic	入力7 入力論理	0	0=A接点、1=B接点
	di7Event	入力7 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方
	di7Trap	入力7 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有
	di7TrapNo	入力7 トラップ 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4) (同時設定可)
	di7Mail	入力7 メール送信有無	0	0=無、1=有
	di7MailNo	入力7 メール送信先No.	0	0~5(カナ区切り同時設定可)
	di7MailDoc	入力7 メール内容	0	0~10(カナ区切り同時設定可)
	di7Output	入力7 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	di7OutputBit	入力7 任意の出力をON/OFF	0	1~8
	di7Rsh	入力7 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有
di7RshNo	入力7 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10(カナ区切り同時設定可)	
di8Logic	入力8 入力論理	0	0=A接点、1=B接点	
di8Event	入力8 入力イベント条件	0	0=無、1=↑、2=↓、3=両方	
di8Trap	入力8 トラップ 発生許可	0	0=無、1=有	
di8TrapNo	入力8 トラップ 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4) (同時設定可)	
di8Mail	入力8 メール送信有無	0	0=無、1=有	
di8MailNo	入力8 メール送信先No.	0	0~5(カナ区切り同時設定可)	
di8MailDoc	入力8 メール内容	0	0~10(カナ区切り同時設定可)	
di8Output	入力8 出力ON/OFFの有無	0	0=無、1=有	
di8OutputBit	入力8 任意の出力をON/OFF	0	1~8	
di8Rsh	入力8 遠隔コマンド送信有無	0	0=無、1=有	
di8RshNo	入力8 遠隔コマンド送信先No.	0	0~10(カナ区切り同時設定可)	
デジタル 出力	do1Logic	出力1 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do2Logic	出力2 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do3Logic	出力3 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do4Logic	出力4 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do5Logic	出力5 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do6Logic	出力6 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do7Logic	出力7 論理	0	0=A接点、1=B接点
	do8Logic	出力8 論理	0	0=A接点、1=B接点
	LoginErrOutput	認証エラー時(telnet, ftp, web)	0	0=無、1=有
	LoginErrOutputBit	認証エラー時(telnet, ftp, web)	0	1~8

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
SNMP	snmpPort	SNMP ポート番号	161	1~65535
	roCommunity	コミュニティ(R)	public	1~63 文字以内(半角英数)
	rwCommunity	コミュニティ(R/W)	public	1~63 文字以内(半角英数)
	trap1Ip	TRAP1 送信先 IP アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	trap1Port	TRAP1 ポート番号	162	1~65535
	trap1Community	TRAP1 コミュニティ名	public	1~63文字以内(半角英数)
	trap1RetryCycle	TRAP1 リトライ間隔	30秒	1~2147483646
	trap1RetryCount	TRAP1 リトライ回数	0	0~65535 0=リトライ無し
	trap2Ip	TRAP2 送信先 IP アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	trap2Port	TRAP2 ポート番号	162	1~65535
	trap2Community	TRAP2 コミュニティ名	public	1~63文字以内(半角英数)
	trap2RetryCycle	TRAP2 リトライ間隔	30秒	1~2147483646
	trap2RetryCount	TRAP2 リトライ回数	0	0~65535 0=リトライ無し
	trap3Ip	TRAP3 送信先 IP アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	trap3Port	TRAP3 ポート番号	162	1~65535
	trap3Community	TRAP3 コミュニティ名	public	1~63文字以内(半角英数)
	trap3RetryCycle	TRAP3 リトライ間隔	30秒	1~2147483646
	trap3RetryCount	TRAP3 リトライ回数	0	0~65535 0=リトライ無し
	trap4Ip	TRAP4 送信先 IP アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	trap4Port	TRAP4 ポート番号	162	1~65535
trap4Community	TRAP4 コミュニティ名	public	1~63文字以内(半角英数)	
trap4RetryCycle	TRAP4 リトライ間隔	30秒	1~2147483646	
trap4RetryCount	TRAP4 リトライ回数	0	0~65535 0=リトライ無し	
failLoginFrap	認証失敗時トラップ 発生有無	0	0=無、1=有	
failLoginFrapNo	認証失敗時トラップ 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4) (同時設定可)	
SMTP	signature	署名		0~255 文字以内(半角英数)
	smtpServerName	SMTP サーバー名		0~255 文字以内(半角英数)
	pop3ServerName	POP3 サーバー名		0~255 文字以内(半角英数)
	dnsServerIp	DNS サーバー IP アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	mailAccount	メールサーバーアカウント		0~63文字以内(半角英数)
	mailPass	メールサーバーパスワード		0~63文字以内(半角英数)
	mailAddress1	メール送信先1		0~255文字以内(半角英数)
	mailAddress2	メール送信先2		0~255文字以内(半角英数)
	mailAddress3	メール送信先3		0~255文字以内(半角英数)
	mailAddress4	メール送信先4		0~255文字以内(半角英数)
	mailAddress5	メール送信先5		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle1	メール題目1		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc1	メール内容1		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle2	メール題目2		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc2	メール内容2		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle3	メール題目3		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc3	メール内容3		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle4	メール題目4		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc4	メール内容4		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle5	メール題目5		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc5	メール内容5		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle6	メール題目6		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc6	メール内容6		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle7	メール題目7		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc7	メール内容7		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle8	メール題目8		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc8	メール内容8		0~255文字以内(半角英数)
	mailTitle9	メール題目9		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc9	メール内容9		0~255文字以内(半角英数)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
SMTP	mailTitle10	メール題目 10		0~63文字以内(半角英数)
	mailDoc10	メール内容10		0~255文字以内(半角英数)
	failLoginMail	認証失敗時メール送信有無	0	0=無、1=有
	failLoginMailNo	認証失敗時メール送信先No.	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)
	failLoginMailDoc	認証失敗時メール送信内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
DIO Server	dioserverPort	ソケットサーバポート	10000	5001~65535
	dioserverProtocol	ソケットサーバプロトコル	0	0:TCP 1:UDP
	dioserverChangePort	強制切替	0	0=無、1=有
遠隔コマンド	rshIp1	コマンド送信先 IP アドレス 1	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser1	コマンド送信先ユーザー名 1		31文字以内(半角英数)
	rshCommand1	コマンド内容 1		255文字以内(半角英数)
	rshIp2	コマンド送信先 IP アドレス 2	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser2	コマンド送信先ユーザー名 2		31文字以内(半角英数)
	rshCommand2	コマンド内容 2		255文字以内(半角英数)
	rshIp3	コマンド送信先 IP アドレス 3	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser3	コマンド送信先ユーザー名 3		31文字以内(半角英数)
	rshCommand3	コマンド内容 3		255文字以内(半角英数)
	rshIp4	コマンド送信先 IP アドレス 4	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser4	コマンド送信先ユーザー名 4		31文字以内(半角英数)
	rshCommand4	コマンド内容 4		255文字以内(半角英数)
	rshIp5	コマンド送信先 IP アドレス 5	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser5	コマンド送信先ユーザー名 5		31文字以内(半角英数)
	rshCommand5	コマンド内容 5		255文字以内(半角英数)
	rshIp6	コマンド送信先 IP アドレス 6	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser6	コマンド送信先ユーザー名 6		31文字以内(半角英数)
	rshCommand6	コマンド内容 6		255文字以内(半角英数)
	rshIp7	コマンド送信先 IP アドレス 7	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser7	コマンド送信先ユーザー名 7		31文字以内(半角英数)
	rshCommand7	コマンド内容 7		255文字以内(半角英数)
	rshIp8	コマンド送信先 IP アドレス 8	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser8	コマンド送信先ユーザー名 8		31文字以内(半角英数)
	rshCommand8	コマンド内容 8		255文字以内(半角英数)
	rshIp9	コマンド送信先 IP アドレス 9	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	rshUser9	コマンド送信先ユーザー名 9		31文字以内(半角英数)
rshCommand9	コマンド内容 9		255文字以内(半角英数)	
rshIp10	コマンド送信先 IP アドレス 10	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255	
rshUser10	コマンド送信先ユーザー名 10		31文字以内(半角英数)	
rshCommand10	コマンド内容 10		255文字以内(半角英数)	
	failLoginRsh	認証失敗時コマンド送信有無	0	0=無、1=有
	failLoginRshNo	認証失敗時コマンド No.	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
ユニット 監視	checkIp1	ping 送信先 IP アドレス 1	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle1	ネット監視周期 1	0 秒	0~2147483646(0 はタイムアウト無し)
	checkTimeout1	タイムアウト時間 1	0 秒	0~2147483646(0 はタイムアウト無し)
	checkTrap1	異常時トラップ 1 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap1No	異常時トラップ 1 送信先 No.	0	0~4(trap1~trap4)(同時設定可)
	checkMail1	異常時メール 1 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail1No	異常時メール 1 送信先 No.	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)
	checkMail1Doc	異常時メール 1 内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkOut1	異常時出力1ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut1Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1~8
	checkRsh1	異常時遠隔コマンド 1 送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh1No	異常時遠隔コマンド 1 送信先 No.	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユニット 監視	checkIp2	ping 送信先 IP アドレス 2	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle2	エント監視周期 2	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTimeout2	タイムアウト時間 2	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTrap2	異常時トラップ 2 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap2No	異常時トラップ 2 送信先 No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)
	checkMail2	異常時メール 2 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail2No	異常時メール 2 送信先 No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)
	checkMail2Doc	異常時メール 2 内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	checkOut2	異常時出力 2 ON/OFF の有無	0	0=無、1=有
	checkOut2Bit	異常時任意の出力を ON/OFF	0	1~8
	checkRsh2	異常時遠隔コマンド 2 送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh2No	異常時遠隔コマンド 2 送信先 No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	checkIp3	ping 送信先 IP アドレス 3	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle3	エント監視周期 3	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTimeout3	タイムアウト時間 3	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTrap3	異常時トラップ 3 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap3No	異常時トラップ 3 送信先 No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)
	checkMail3	異常時メール 3 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail3No	異常時メール 3 送信先 No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)
	checkMail3Doc	異常時メール 3 内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	checkOut3	異常時出力 3 ON/OFF の有無	0	0=無、1=有
	checkOut3Bit	異常時任意の出力を ON/OFF	0	1~8
	checkRsh3	異常時遠隔コマンド 3 送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh3No	異常時遠隔コマンド 3 送信先 No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	checkIp4	ping 送信先 IP アドレス 4	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle4	エント監視周期 4	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTimeout4	タイムアウト時間 4	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTrap4	異常時トラップ 4 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap4No	異常時トラップ 4 送信先 No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)
	checkMail4	異常時メール 4 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail4No	異常時メール 4 送信先 No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)
	checkMail4Doc	異常時メール 4 内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	checkOut4	異常時出力 4 ON/OFF の有無	0	0=無、1=有
	checkOut4Bit	異常時任意の出力を ON/OFF	0	1~8
	checkRsh4	異常時遠隔コマンド 4 送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh4No	異常時遠隔コマンド 4 送信先 No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	checkIp5	ping 送信先 IP アドレス 5	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle5	エント監視周期 5	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTimeout5	タイムアウト時間 5	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)
	checkTrap5	異常時トラップ 5 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap5No	異常時トラップ 5 送信先 No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)
	checkMail5	異常時メール 5 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail5No	異常時メール 5 送信先 No.	0	0~5 (カンマ区切り同時設定可)
	checkMail5Doc	異常時メール 5 内容	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
	checkOut5	異常時出力 5 ON/OFF の有無	0	0=無、1=有
	checkOut5Bit	異常時任意の出力を ON/OFF	0	1~8
	checkRsh5	異常時遠隔コマンド 5 送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh5No	異常時遠隔コマンド 5 送信先 No.	0	0~10 (カンマ区切り同時設定可)
checkIp6	ping 送信先 IP アドレス 6	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255	
checkCycle6	エント監視周期 6	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)	
checkTimeout6	タイムアウト時間 6	0 秒	0~2147483646 (0 はタイムアウト無し)	
checkTrap6	異常時トラップ 6 発生許可	0	0=無、1=有	
checkTrap6No	異常時トラップ 6 送信先 No.	0	0~4 (trap1~trap4) (同時設定可)	
checkMail6	異常時メール 6 送信有無	0	0=無、1=有	

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユニット 監視	checkMail6No	異常時メール6 送信先 No.	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)
	checkMail6Doc	異常時メール6 内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkOut6	異常時出力6ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut6Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1~8
	checkRsh6	異常時遠隔コマンド6送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh6No	異常時遠隔コマンド6送信先No.	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkIp7	ping 送信先 IPアドレス7	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle7	エージェント監視周期7	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)
	checkTimeout7	タイムアウト時間7	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)
	checkTrap7	異常時トラップ7 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap7No	異常時トラップ7 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4)(同時設定可)
	checkMail7	異常時メール7 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail7No	異常時メール7 送信先 No.	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)
	checkMail7Doc	異常時メール7 内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkOut7	異常時出力7ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut7Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1~8
	checkRsh7	異常時遠隔コマンド7送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh7No	異常時遠隔コマンド7送信先No.	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkIp8	ping 送信先 IPアドレス8	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle8	エージェント監視周期8	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)
	checkTimeout8	タイムアウト時間8	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)
	checkTrap8	異常時トラップ8 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap8No	異常時トラップ8 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4)(同時設定可)
	checkMail8	異常時メール8 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail8No	異常時メール8 送信先 No.	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)
	checkMail8Doc	異常時メール8 内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkOut8	異常時出力8ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut8Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1~8
	checkRsh8	異常時遠隔コマンド8送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh8No	異常時遠隔コマンド8送信先No.	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkIp9	ping 送信先 IPアドレス9	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255
	checkCycle9	エージェント監視周期9	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)
	checkTimeout9	タイムアウト時間9	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)
	checkTrap9	異常時トラップ9 発生許可	0	0=無、1=有
	checkTrap9No	異常時トラップ9 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4)(同時設定可)
	checkMail9	異常時メール9 送信有無	0	0=無、1=有
	checkMail9No	異常時メール9 送信先 No.	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)
	checkMail9Doc	異常時メール9 内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	checkOut9	異常時出力9ON/OFFの有無	0	0=無、1=有
	checkOut9Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1~8
	checkRsh9	異常時遠隔コマンド9送信有無	0	0=無、1=有
	checkRsh9No	異常時遠隔コマンド9送信先No.	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
checkIp10	ping 送信先 IPアドレス10	0.0.0.0	0.0.0.0~255.255.255.255	
checkCycle10	エージェント監視周期10	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)	
checkTimeout10	タイムアウト時間10	0秒	0~2147483646(0はタイムアウト無し)	
checkTrap10	異常時トラップ10 発生許可	0	0=無、1=有	
checkTrap10No	異常時トラップ10 送信先No.	0	0~4(trap1~trap4)(同時設定可)	
checkMail10	異常時メール10 送信有無	0	0=無、1=有	
checkMail10No	異常時メール10 送信先 No.	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)	
checkMail10Doc	異常時メール10 内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)	
checkOut10	異常時出力10ON/OFFの有無	0	0=無、1=有	
checkOut10Bit	異常時任意の出力をON/OFF	0	1~8	
checkRsh10	異常時遠隔コマンド10送信有無	0	0=無、1=有	
checkRsh10No	異常時遠隔コマンド10送信先No.	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)	

	設定項目	設定内容	初期値	設定範囲
ユーザー	telnetUser	telnet ユーザ名	admin	1~63文字以内(半角英数)
	telnetPass	telnet パスワード	root	1~63文字以内(半角英数)
	webUser	Web ユーザ名	admin	1~63文字以内(半角英数)
	webPass	Web パスワード	root	1~63文字以内(半角英数)
	ftpUser	ftp ユーザ名	admin	1~63文字以内(半角英数)
	ftpPass	ftp パスワード	root	1~63文字以内(半角英数)
クリア SW	clearTrap	クリア SW 押下時 トラップ 有無	0	0=無、1=有
	clearTrapNo	クリア SW 押下時 トラップ 番号	0	0~4(trap1~trap4) (同時設定可)
	clearMail	クリア SW 押下時 メール有無	0	0=無、1=有
	clearMailNo	クリア SW 押下時 メール番号	0	0~5(カンマ区切り同時設定可)
	clearMailDoc	クリア SW 押下時 メール内容	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)
	clearRsh	クリア SW 押下時 コマンドの有無	0	0=無、1=有
	clearRshNo	クリア SW 押下時 コマンド番号	0	0~10(カンマ区切り同時設定可)

※1 第1オクテットの値は10（10進）の固定値が入ります。  
第2～4オクテットの値はMAC アドレスの下3バイトの値を割り当てます。

例)      MAC = 00-04-FD-01-02-03 ⇒ IP = 10. 1.2.3  
          MAC = 00-04-FD-0A-0B-0C ⇒ IP = 10. 10.11.12



## 6 トラブルシューティング

### Q1 電源LEDが点灯しない

A1 ・ACアダプタが正しく接続されていることを確認してください。

### Q2 設定ユーティリティソフトから本製品を検索しても表示されない

A2 ・設定ユーティリティソフトで使用しているパソコンと、  
本製品が同一ネットワーク内であるか確認してください。  
・LANケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。  
・モード切替スイッチが運転モード、パラメータ設定初期化モードもしくはUP-DATEモードにて動作していることを確認してください。

### Q3 本製品にTCP接続できない

A3 ・IP、ポート番号設定があっているかを確認してください。  
・上位ホストと本製品が同一ネットワーク内にあるか確認してください。  
・LANケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。  
・モード切替スイッチが運転モードにて動作していることを確認してください

### Q4 通信エラーがでる

A4 ・LANケーブルの接続方法に問題がないか確認してください。

## 7 製品仕様

## 7.1 一般仕様

項目	仕様
機種名	PHN-D88
定格電源電圧	AC100V±10% (付属ACアダプタ使用)
消費電力	15VA以下
絶縁抵抗	DC 500Vにて1MΩ以上 (電源端子-ケース間)
耐電圧	AC 1000V 1分間 (電源端子-ケース間)
耐ノイズ性	1500Vp-p パルス幅1μsec
耐振動	19.6m/s <sup>2</sup> 10~150Hz X、Y、Z (JIS C0911 準拠)
使用周囲温度	0°C~50°C (但しACアダプタは、0°C~40°C)
使用周囲湿度	20%~85% (結露なきこと)
使用周囲雰囲気	腐食性ガスなきこと
保存周囲温度	-10°C~60°C
質量	本体 約730g 付属ACアダプタ 約130g
外形寸法	幅185×高42×奥116mm (突起部含まず)

## 7.2 性能仕様

## Ethernet インタフェース

項目	仕様
LAN	10BASE-T、100BASE-TX

## 出力部インタフェース

項目	仕様
出力形式	リレー-接点出力
出力点数	8点
定格負荷	最大：AC125V 3A、DC30V 3A 最小：DC5V 10mA (抵抗負荷)
使用可能電線	単線 AWG#16~#12 (φ1.3~2mm) より線 AWG#22~#14 (0.33~2.08mm <sup>2</sup> )
電線被覆剥きしろ	9~10mm

## 入力部インタフェース

項目	仕様
入力形式	フォトカプラ入力 (内蔵12V使用) 短絡時電流：5mA
入力点数	8点
使用可能電線	単線 AWG#16~#12 (φ1.3~2mm) より線 AWG#22~#14 (0.33~2.08mm <sup>2</sup> )
電線被覆剥きしろ	9~10mm

## 8 製品サポート

製品サポートについては、下記にて受け付けております。

技術相談口:  0120-497-090

受付 9:00~17:00 (日・祝日は留守番電話による対応) FAX 06-6763-8989

ハードウェアの故障などにより製品修理をご依頼いただく場合、弊社作業上、IP アドレスなどの本体諸設定は初期化してのご返却となります。ご面倒ですが、必ずお客様で設定いただきました諸設定情報の控えをとっていただき、ご返却後お客様にて再設定を行っていただきますようお願いいたします。また、修理後はMAC アドレスを変更して、ご返却させていただきます。

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする	
株式会社 <b>パトライト</b>	
PATLITE Corporation	
Y1W	
本 社 / 〒542-0067 大阪市中央区松屋町 8-8	International Division Sales & Marketing Department
東 京 / 〒104-0033 東京都中央区新川 2-12-15	8-8 Matsuya-machi, Chuo-ku, Osaka 542-0067 JAPAN
■TEL. 03(5541)6711 ■FAX. 03(5541)6767	■TEL. +81-6-6763-8220 ■FAX. +81-6-6763-8221
仙 台 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 3-7-35	<b>PATLITE (U.S.A.) Corporation</b>
■TEL. 022(256)5656 ■FAX. 022(256)3737	20130 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501 U.S.A.
関 東 / 〒330-0845 さいたま市大宮区仲町 3-13-1	■TEL. +1-310-328-3222 ■FAX. +1-310-328-2676
■TEL. 048(640)2020 ■FAX. 048(640)2030	<b>PATLITE (SINGAPORE) PTE LTD</b>
横 浜 / 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-6-13	No.2 Leng Kee Road, #05-01 Thye Hong Centre, Singapore 159086
■TEL. 045(473)1118 ■FAX. 045(473)7778	■TEL. +65-6226-1111 ■FAX. +65-6324-1411
名 古 屋 / 〒461-0004 名古屋市東区葵 3-15-31	<b>PATLITE (CHINA) Corporation</b>
■TEL. 052(934)2211 ■FAX. 052(934)2552	Room 512, Jufeng Business Building, No.697-3 Lingshi Road, Shanghai 200072, China
大 阪 / 〒542-0067 大阪市中央区松屋町 8-8	■TEL. +86-21-6630-8969 ■FAX. +86-21-6630-8938
■TEL. 06(6763)8800 ■FAX. 06(6763)8810	<b>PATLITE Corporation/European Office</b>
広 島 / 〒733-0011 広島市西区横川町 2-9-1	Teinfaltstrasse 8/4 Stock, 1010, Vienna, Austria
■TEL. 082(297)2277 ■FAX. 082(294)6100	■TEL. +43-1-961-0655 ■FAX. +43-1-961-0655-210
福 岡 / 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町 5-35	※電話番号などは、変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
■TEL. 092(686)7333 ■FAX. 092(686)7337	受付時間 9:00~17:00 土/日/祝日と夏期/年末年始の休日は、留守番電話でお受けいたします。
北 海 道 / 〒060-0001 札幌市中央区北1条西 9-3-10	●技術相談窓口  0120(497)090 ■FAX. 06(6763)8989
■サテライトオフィス	※ご注文・価格・商品内容等は、各営業所拠点または代理店にお問い合わせください。
<a href="http://www.patlite.co.jp">http://www.patlite.co.jp</a>	